KING JIM

取扱説明書

デジタルメモ

pomera

DM100 USER'S GUIDE

はじめに

このたびは、デジタルメモ「ポメラ」DM100をお買い上げいただき、ありがとうございます。
「ポメラ」をお使いいただく際には、本書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、本書はすぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。
「ポメラ」を本書と共に末永くご愛用いただきますよう､心よりお願い申し上げます。

- ● この製品を、テレビ・ラジオ等の電波受信機に近づけて使用すると、雑音などが発生することがございますのでご了承下さい。
- ● 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
- ● 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- ● この製品は、日本国内専用です。
- ● 本書の作成には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。

- 本機やパソコンなどに保存したデータは、長期間・永久的な保存はできません。本機の故障、修理、検査、電池消耗などに起因するデータの損失及び損失利益、本製品の使用を原因としたパソコンの故障、修理、検査、それらに起因するデータの損失の障害及び損失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

キングジム、KINGJIM、ポメラ、pomeraはいずれも日本国およびその他の国における商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、「MS-IME」は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
eneloop、エネループは三洋電機株式会社の登録商標です。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
「Bluetooth」、「ブルートゥース」、および、ブルートゥースマークは、Bluetooth SIG社の商標または登録商標です。
iPad、iPhone、iPod touch、Macは米国Apple社の商標または登録商標です。
Evernoteは、Evernote Corporationの商標または登録商標です。
FlashAirは、株式会社東芝の商標または登録商標です。
その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意・・・必ずお守りください！

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。
本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

● 表示された指示内容を守らずに、誤った使い方によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

危険	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
警告	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
注意	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

● 次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	⚠ 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	⃠ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠ 危険

電池の取り扱いについて

電池の内容液が目に入ったときは、失明など障害のおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

電池の取り扱いについて

電池の＋と－を逆にして使用しないでください。充電やショートなどで異常反応を起こしたりして、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

電池の内容液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐに多量の水道水などのきれいな水で洗い流してください。

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池などを混ぜて使用しないでください。特性の違いから、電池を漏液、発熱、破裂させるおそれがあります。

使い切った電池はすぐに本機から取り出してください。使い切った電池を本機に接続したまま長期間放置しますと、電池から発生するガスにより、電池を漏液、発熱、破裂させたり、本機を破損させるおそれがあります。

長期間本機を使用しない場合には、本機から電池を取り出してください。電池から発生するガスにより、電池を漏液させたり、本機を破損させるおそれがあります。

電池はお子様が飲み込まないように、手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと大変危険です。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

エネループを使用する場合には、お使いの充電器および電池の取扱説明書に従って正しく使用してください。

その他

磁気カード（キャッシュカード、クレジットカード、プリペイドカードなど）と一緒に持ち歩いたり、保管しないでください。本機の磁気により磁気カードが使えなくなることがあります。

磁気（磁力）で医療電子機器や周辺の電子機器等に影響を及ぼす恐れがありますので近づけないでください。ペースメーカー等に磁気（磁力）の影響をあたえることがあります。

誤作動により重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤作動する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。

病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器（例えばペースメーカー）などに影響を及ぼす恐れがあります。

⚠ 警告

航空機の安全運航に支障をきたす恐れがあるため、航空機内でBluetooth 機能を使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前に本製品の Bluetooth 機能を切った上でご使用くださいますようお願いいたします。
※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切り、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災･感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切り、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には絶対に触れないで下さい。万一、口の中に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。目に入ったり、皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗った後、医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

電池の取り扱いについて

電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したりけがや機器故障の原因となるので、電池の外装ラベルやパッケージの注意書に従って正しく使用してください。

その他

長時間の使用による目などの疲労に注意しましょう。

⚠ 取扱い上のご注意

●無理な力がかかると、液晶パネルや内部の基盤などが破損し故障の原因となりますので、カバンの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に破損がなくても保証の対象外となります。

●汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。

●本機で使用している液晶パネルは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

●液晶パネルを強く押す、叩くなど、故意に強い衝撃を与えたり、強くこすったりしないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。

●使用中に無理なキー操作をおこなうと、動作が停止する、データが失われるなど、通常と異なる動作をする場合があります。

SD カードについて

●端子部に直接触れたり、金属や固いものを当てたりしないでください。静電気によりデータが破壊・消失するおそれがあります。

●分解や改造をしたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

●高温・多湿な場所、結露する場所、埃が多い場所、静電気、電気ノイズ、強い磁気がある場所での使用や保管は避けてください。

●アップデートやデータの読み出し中に機器の電源を落としたり、機器から本製品を引き抜いたりしないでください。

●廃棄の際は、お住まいの自治体のルールに沿って廃棄してください。

●データの読み書きをしている間、SD カードを抜き差ししないでください。保存されたデータが破損するおそれがあります。

ワイヤレス（無線）についての注意事項

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従いまして、本製品をご使用するときに無線局の免許は必要ありません。本製品は 2.4GHz 周波数帯域を使用しています。
Bluetooth は 2.4GHz 無線機や無線 LAN 機器と同じ周波数帯域であり、同じ周波数帯域を使用する他の機器に影響を与えることがあります。

・ 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。
・ 万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。

※「他の無線局」とは、本製品と同じ 2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を利用することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなり、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

おことわり

この製品に収録されている辞書などの各コンテンツの内容は、それぞれの書籍版コンテンツに基づいて、出版社より電子データとして作成、提供された著作物であり、著作権法により保護されております。したがって弊社において、その内容を改変／改良することはできません。
それぞれのコンテンツにおける、誤記・誤植・誤用につきましては、判明したものについて、出版社に連絡させていただいておりますが、修正の是非／時期については、出版社の意向によるため、改善しかねることがございますので、あらかじめご了承ください。

「明鏡国語辞典 MX」「ジーニアス英和辞典 MX」「ジーニアス英和辞典 MX」は株式会社大修館書店の著作物です。

目次

pomera "DM100"の特長

「ポメラ」は、コンパクトさと打ちやすさの両立を追求し、
見やすい液晶画面を搭載したテキスト入力装置（メモ帳）です。
「ポメラ」とは、ポケット・メモ・ライターの造語です。

オープンパワーオン

液晶を開けば即起動、ますます気軽に使えます。

バックライト搭載

明かりの少ない環境でも、DM100 なら
問題ありません。

SD カードスロット対応

SDHC 規格対応で、最大 32GB まで
保存領域が追加できます。

PC 版 ATOK 辞書インポート

パソコンでいつも使っている変換候補を、
ポメラでも使うことができます。

移動中や外出先で
ひらめきを逃さず、メモる！

・会議やミーティングで、ポイントを素早くメモる。
・軽量ボディだから、どこでも開いて即起動！

縦書き表示

文章執筆に便利な、縦書き表示にも対応しました。

Bluetooth 搭載

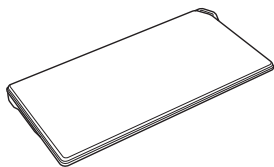
iPhone のキーボードとしても利用できるように
なりました。パソコンからのアクセスも、
無線で行えます。

国語・英和・和英辞書搭載

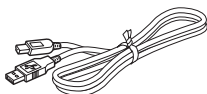
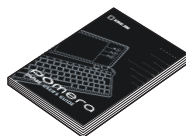
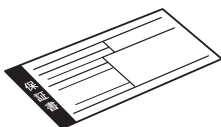
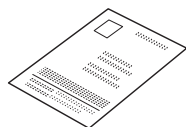
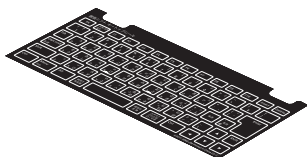
思い出せないあの言葉、あの英単語もすぐに
検索できます。

1 ご使用前の準備

同梱品の確認

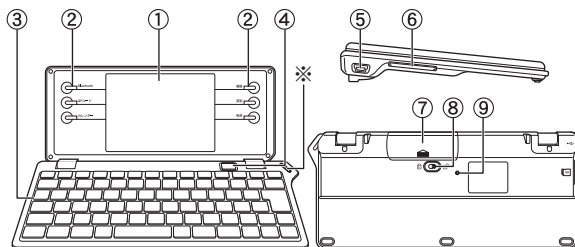
本体

リチウムコイン電池（CR2016）

※本体に装着されています。絶縁フィルムを抜いてからご使用ください。

USB インターフェイスケーブル（ミニ B 端子、50cm）

取扱説明書（本書）

保証書

お客様登録カード

キートップシール

■別売品のご案内

・「ポメラ」専用ケース：DMC4

各部の名称

本体

① **液晶パネル**
テキストファイルの編集画面やメニュー画面を表示します。

② **サイドキー**
便利なコンテンツをすぐに呼び出せます。（➔ 26 ページ）

③ **キーボード**
キーを押して文字を入力します。（➔ 36 ページ）

④ **電源ボタン**
電源を入れる／切るができます。

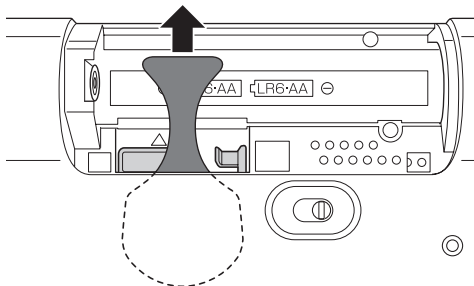
⑤ **USB ポート**
付属の USB ケーブルを接続し、パソコンと接続します。

⑥ **SD カードスロット**
SD カードをセットします。

⑦ **電池カバー**

カバーを外し、単 3 形電池とコイン電池の取り付け、取り外しを行います。（➔ 15 ページ）

ご購入直後は、電池はセットされていませんので、ご使用前に必ず電池をセットしてください。

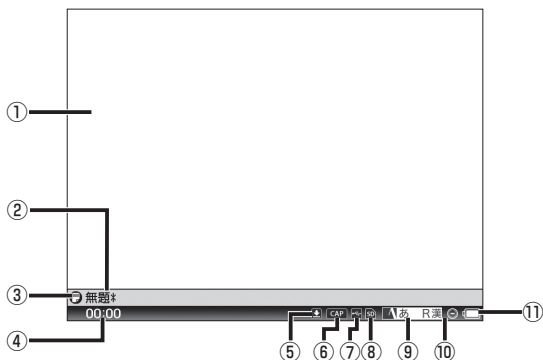
また、コイン電池スロットには、絶縁フィルムがはさまれています。必ずフィルムを抜き取ってからご使用ください。

⑧ **電池カバーロック**

電池カバーをロックします。ロックを解除している状態では本機の電源は入りません。電源を入れたまま、電池カバーロックを解除した場合、警告メッセージが表示され、本機の電源は自動的に切れます。

⑨ **リセットスイッチ**

リセットスイッチを押すと、再起動します。編集中の文章は破棄されます。

※ 突起部分の穴に負担がかかるようなストラップなどは通さないでください。本体破損の原因となります。

液晶パネル

① **テキスト編集エリア**

テキストファイルの編集を行います。（➔ 36 ページ）

② **編集中アイコン**

テキストが変更された状態で、未保存の場合に表示されます。（➔ 39 ページ）

③ **ファイル名**

編集中のテキストファイルの名前を表示します。（➔ 67 ページ）

④ **時刻表示**

本体に設定した時計の時刻を表示します。（➔ 100 ページ）

⑤ **キーロックアイコン**

修飾キーがロック状態の場合に表示されます。（➔ 116 ページ）

⑥ **CapsLock アイコン**

CapsLock の設定時に表示されます。（➔ 125 ページ）

⑦ **USB 接続アイコン**

パソコンに USB 接続をしている場合に表示されます。

⑧ **SD アイコン**

SD カードをセットすると表示されます。

⑨ **入力システムパレット**

入力モードなど、文字の入力・変換に必要な情報が表示されています。

⑩ **コイン電池アイコン**

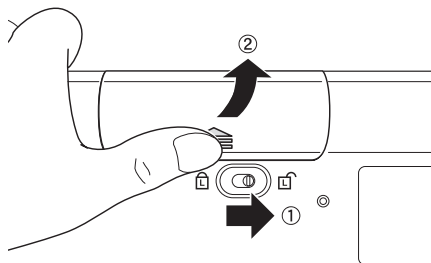
コイン電池がセットされている場合に点灯します。電池残量が少なくなると 1 秒間隔で点滅します。電池残量がない、あるいはコイン電池がセットされていない場合は 2 秒間隔で点滅します。

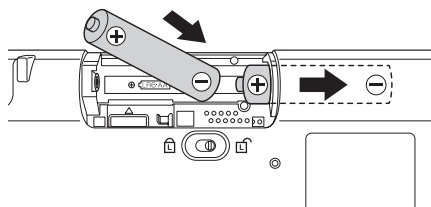
⑪ **電池残量アイコン**

電池残量の目安が表示されます。

電池をセットする（別売り）

本機を使用する前に、単３形電池２本をセットします。

1 電池カバーのロックを解除し、電池カバーをはずす

2 電池を入れる

電池の向きに注意して、単３形電池を２本入れます。

3 電池カバーをはめ、電池カバーをロックする

- 本機には電池は同梱しておりません。単３形アルカリ乾電池（２本）、または単３形エネループ（２本）をお買い求めください。その他の電池を使用したときは、本機が起動しない、電池の寿命が短い、電池の消耗を知らせるメッセージが表示されないなどのトラブルが生じることがあります。
- 電池残量が少なくなると、電池残量アイコンの目盛りが減っていきます。▭が表示されたときは、電池を新品のアルカリ電池または十分に充電されたエネループに交換してください。
- 電源を入れたまま、電池カバーロックを解除した場合、警告メッセージが表示され、本機の電源は自動的に切れます。

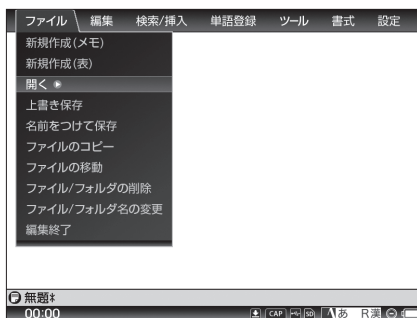
- 単 3 形アルカリ乾電池の実使用動作時間は約 30 時間、単3形エネループ(標準)の実使用動作時間は約 25 時間です。(2 時間キー入力、2 時間待機状態での換算時)
- 電池が消耗した状態で使い続けると、稀にメモリの保存動作や管理動作が不安定になることがあります。電池の消耗を知らせるメッセージが表示された場合、速やかに電池を新品のアルカリ電池または十分に充電されたエネループに交換してください。

※ 電池寿命は使用環境や設定などで変化します。

電池の種類を設定する

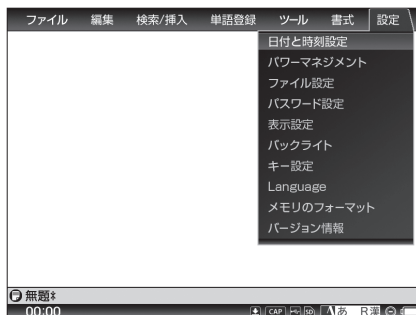
本機にセットした単 3 形電池の種類を設定します。

1 Menu キーを押す

メニュー画面が表示されます

2 ◀ / ▶ キーで「設定」を選択する

3 ▲ / ▼キーで「パワーマネジメント」を選択し、Enter キーを押す

「パワーマネジメント」画面が表示されます。

パワーマネジメント設定
電池設定
アルカリ乾電池　eneloop
オートパワーオフ設定
3分　5分　15分　30分　しない
オープンパワーオン設定
する　しない
Enter:決定　Esc:キャンセル
無題*
00:00

4 ▲ / ▼キーで「電池設定」を選択し、◀ / ▶ キーで電池の種類を選択して Enter キーを押す

使用する電池の種類が設定され、メニュー画面に戻ります。

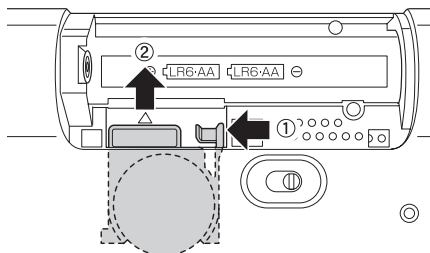
コイン電池の交換について

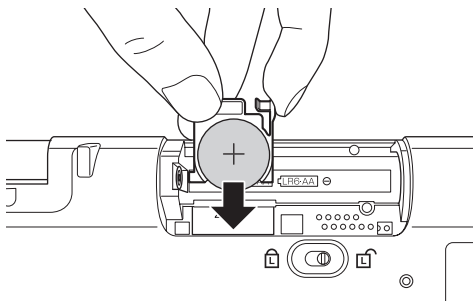
本機では、日時データのバックアップのためにリチウムコイン電池を使用しています。電池残量が少なくなると、コイン電池アイコンが点滅します。コイン電池アイコンが点滅したときは、コイン電池を交換してください。

1 **電池カバーのロックを解除し、電池カバーを外す**

2 **単 3 形電池を外す**

3 **コイン電池トレイを引き出す**

つまみを指で引いたまま、トレイを引き出してください。

4 **トレイにコイン電池をセットして、元の位置に戻す**

コイン電池は、プラスの面が見えるようにセットします。
※カチッ！という音がするまで、しっかりセットしてください。

5 単３形電池をセットし、電池カバーをはめ、ロックする

注意

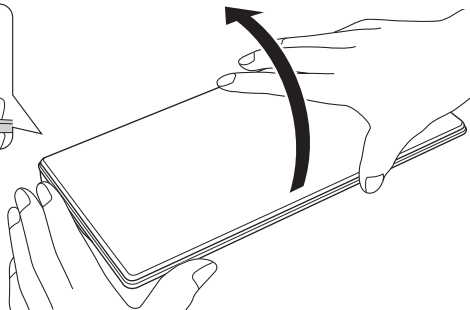
・ご購入直後は、コイン電池に絶縁フィルムがはさまれています。単３形電池をセット後に必ずフィルムを抜き取ってからご使用ください。
・コイン電池の電池寿命は約２年です。（単３形電池が入っていれば消耗しません）

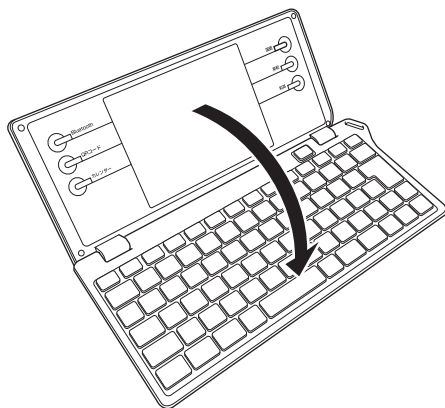
重要

・電池交換後、電源ボタンを押しても何も表示されない場合はリセットスイッチを押してください。コイン電池を交換する際は、交換後必ずリセットスイッチを押してください。（リセットスイッチを押すと未保存の文書は消去されます）
・電池が消耗した状態で使い続けると、稀にメモリの保存動作や管理動作が不安定になることがあります。電池の消耗を知らせるメッセージが表示された場合、速やかに電池を新品のアルカリ電池または十分に充電されたエネループに交換してください。
・コイン電池をセットする際、必ず＋の面が上にくるようにセットしてください。逆の向きでセットすると、電池寿命や本体の動作が不安定になり、故障の原因となる可能性があります。

キーボードを開く / 閉じる

■キーボードを開く

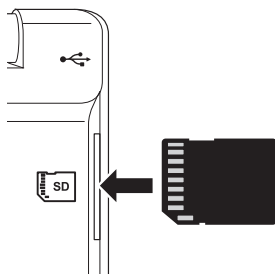
1　**キーボードの端を押さえながら、液晶画面を持ち上げる**

■キーボードを閉じる

1　**キーボードを押さえながら、液晶画面を閉じる**

・ キーボードを開閉する際には、指などがはさまれないようにご注意ください。
・ キーボードを開いたまま持ち運ばないでください。本体が破損する恐れがあります。持ち運ぶときは必ずキーボードを閉じてください。

SD カードをセットする（別売り）

SD カードをセットします。ファイルの保存領域を増やすだけでなく、パソコンとのデータのやり取りが行えます。

1 SD カードを入れる

SD カードの向きに注意して、「カチッ」と音がするまで奥へ入れます。

- 本機には SD カードは同梱しておりません。
- 本機で動作確認済みの SD カードの情報は、弊社 HP にてご確認ください。
  http://www.kingjim.co.jp/

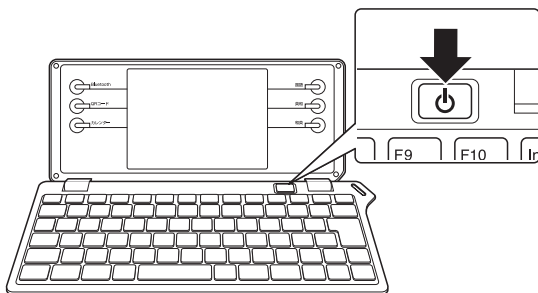
- 本機は、2GB までの SD カードまたは 32GB までの SDHC カードに対応しています。これらより大きい容量のカードは使用できませんのでご注意ください。
- SD カードまたは SDHC カードは、使用前に必ず本機でフォーマットを行ってください。本機でフォーマットを行わない場合、使用できない可能性があります。
- SD カードがロックされている場合、データの閲覧、コピー以外、カードのデータは操作できません。

2 基本操作

電源を入れる / 切る

■電源を入れる

1 **電源ボタンを押す**

電源が入り液晶パネルにテキスト編集画面（またはカレンダー画面、辞書画面）が表示されます。

・ パスワードを設定している場合は、認証画面が表示されます。設定したパスワードを入力して、Enter キーを押してください。
・ 起動時の初期表示画面は変更できます。（➔ 109 ページ）

オープンパワーオンついて

「オープンパワーオン」が設定されている場合、本機を開くと自動で電源が入ります。この設定はメニュー画面の「設定」-「パワーマネジメント」で変更できます。（➔ 101 ページ）

■電源を切る

1 **電源ボタンを押す**

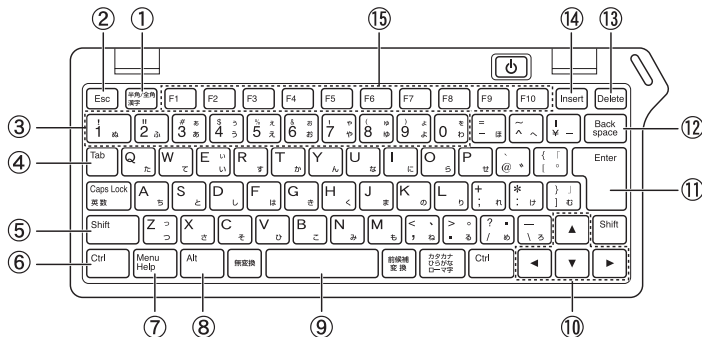
編集中のファイルがある場合は内容が保持され、本機の電源が切れます。

電源が入った状態で液晶画面を閉じても、電源を切ることができます。編集中のファイルの内容は保持されます。

オートパワーオフについて

「オートパワーオフ」が設定されている場合、電源を入れてから一定時間（初期設定：3 分）操作を行わないと、自動で電源が切れます。この設定はメニュー画面の「設定」－「パワーマネジメント」で変更できます。（➔ 102 ページ）

キーボードの基本操作

ここでは文字を入力する以外のキーのおもな使いかたを説明します。

① **半角 / 全角　漢字キー**

日本語入力のオン、オフを切り替えます。

② **Esc（エスケープ）キー**

1 つ前の画面に戻します。

③ **数字キー**

数字を入力します。Shift キーを押したまま、数字キーを押すと数字キーの左上の記号を入力します。

※かな入力時は入力できません。

④ **Tab（タブ）キー**

テキスト編集画面では、編集中のテキストにタブを挿入します。

メニュー画面では、カーソルやアクティブエリアを次の項目に移動します。

⑤ **Shift（シフト）キー**

他のキーと組み合わせて押して、ショートカット機能を実行します。

（➔ 124 ページ）

Shift キーを押しながら Caps Lock キーを押すと CapsLock 機能のオン / オフが切り替わります。

⑥ **Ctrl（コントロール）キー**

他のキーと組み合わせて押して、ショートカット機能を実行します。

（➔ 124 ページ）

⑦ **Menu（メニュー）/ Help（ヘルプ）キー**

メニュー画面の呼び出し、メニュー画面の終了を行います。

Alt キーと組み合わせて押すと、ヘルプ画面が表示されます。（➔ 29 ページ）

⑧ Alt（オルト）キー

他のキーと組み合わせて押して、ショートカット機能を実行します。
（➔ 124 ページ）

⑨ スペースキー

スペースの入力や、入力中の文字の変換を行います。

⑩ ▲ / ▼ / ◀ / ▶（カーソル）キー

上下左右にカーソルを移動します。

⑪ Enter（エンター）キー

テキスト編集画面では、改行をしたり、文字の変換候補を決定したりします。
メニュー画面では選択した内容を確定します。

⑫ Backspace（バックスペース）キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

⑬ Delete（デリート）キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。
ファイル / フォルダ管理画面では、ファイル / フォルダを削除します。また、定型文・日付メモ・登録単語画面などでは、選択した項目を削除します。

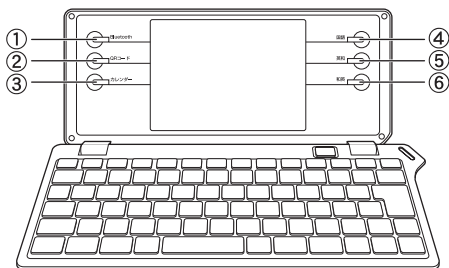
⑭ Insert（インサート）キー

テキスト編集画面で、挿入モードと上書きモードを切り替えます。
挿入モードではカーソルが点滅し、上書きモードではカーソルが点灯します。

⑮ F1 ～ F10（ファンクション）キー

各キーに本機専用の機能が割り当てられています。（➔ 28 ページ）

サイドキーについて

サイドキーを押せば、本機の便利な機能をすぐに使用できます。

① **Bluetooth**

Bluetooth 機能で、PC リンクをせずに本機とパソコンの間でデータをやり取りしたり、iPhone などのキーボードとして使用できるようにします。（➔ 75 ページ）

② **QR コード**

QR コードを表示し、作成したテキストを携帯電話の QR コードリーダーなどに読み取らせることができます。（➔ 84 ページ）

③**カレンダー**

カレンダーを表示し、日付ごとのメモなどが作成できます。（➔ 86 ページ）

④**国語**

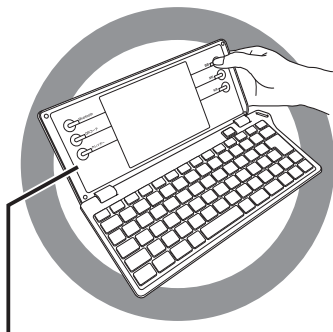
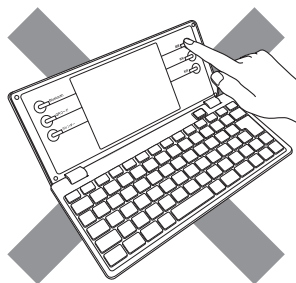
「明鏡国語辞典 MX」で単語を検索できます。（➔ 71 ページ）

⑤**英和**

「ジーニアス英和辞典 MX」で英単語を検索できます。（➔ 71 ページ）

⑥**和英**

「ジーニアス和英辞典 MX」で日本語の英訳などを検索できます。（➔ 71 ページ）

サイドキーは、トップパネルを支えながら押してください。
モニター背面を支えずに強くボタンを押すと、本体が倒れる恐れがあり、破損、故障の原因となります。

ファンクションキーについて

本機のファンクションキーには、以下の機能が割り当てられています。

F1　：付箋文の挿入
編集中のテキストのカーソル位置に、メニュー画面で登録した「付箋文」（➔ 51 ページ）を挿入します。

F2　：タイムスタンプ
編集中のテキストのカーソル位置に、年月日と時刻を貼り付けます。タイムスタンプの形式は「タイムスタンプ設定」（➔ 34 ページ）で設定できます。

F3　：次を検索
直前に検索した文字列がある場合、カーソル位置から下方向に、もう一度検索します。
Shift キーを押しながら、F3 キーを押すと、上方向に検索を行います。

F4　：動作の繰り返し
直前の動作を繰り返し実行します。

F5　：付箋文ジャンプ
テキスト内に挿入した付箋文がある場合、カーソル位置から下方向にある付箋文の位置までカーソルがジャンプします。
Shift キーを押しながら、F5 キーを押すと、カーソル位置から上方向にある付箋文の位置へジャンプします。

F6　：表示文字サイズ切替
テキスト編集画面の表示文字サイズを変更します。
Shift キーを押しながら F6 キーを押すと、表示文字サイズが逆順に変更されます。

F7　：文字情報表示
編集中のテキストデータの総文字数と総行数を表示します。選択している文字数と行数も同時に表示されます。

F8　：表示方向変換切り替え
テキスト表示の縦書き／横書きを切り替えます。

テキスト編集画面以外の画面では、一部ファンクションキーの機能が変わります。詳しくは『ポメラショートカットキー』（➔ 124 ページ）をご参照ください。

入力ヘルプについて

テキスト編集中、簡単な操作で、本機専用の機能が割り当てられたキーの情報とローマ字入力表が表示できます。

1 **Alt + Menu キーを押す**

入力ヘルプ画面が表示されます。

各画面によって、キーに割り当てられた機能は異なります。

メニュー画面を表示する

メニュー画面では、ファイルの編集・管理や本機の設定を行います。

1 **Menu キーを押す**

メニュー画面が表示されます。

メニュー画面の基本操作

メニュー画面の主なキーボード操作を説明します。

◀ / ▶キー　：カーソルを左右に動かします。メニュータブを選択します。
▲ / ▼キー　：カーソルを上下に動かします。メニュータブの中の項目を選択します。
Enter キー　：選択した項目を決定し、次画面を開きます。
Menu キー　：メニュー画面を終了します。
Esc キー　：1 つ前の画面に戻ります。

メニュー画面でできること

メニュー画面から実行できる操作や、設定を説明します。

■ファイル

新規作成（メモ）
新しいテキスト形式のファイル（txt ファイル）を作成します。

新規作成（表）
新しい表形式のファイル（csv ファイル）を作成します。

開く
本体メモリ、SD カードに保存してあるファイルを選択して開きます。▶を押すと、「最近開いたファイル」が呼び出せます。

上書き保存
現在付けられているファイル名を変更せずに編集した内容を保存します。

名前をつけて保存
新規作成したファイルの保存や、編集した内容を別のファイル名で保存するときに選択します。
（➔ 39 ページ）

ファイルのコピー
本体メモリ、SD カードに保存しているファイルをコピーします。（➔ 62 ページ）

ファイルの移動
本体メモリ、SD カードに保存しているファイルを移動します。（➔ 62 ページ）

ファイル / フォルダの削除
本体メモリ、SD カードに保存しているファイルまたはフォルダを削除します。（➔ 64 ページ）

ファイル / フォルダ名の変更
本体メモリ、SD カードに保存しているファイルまたはフォルダの名前を変更します。（➔ 67 ページ）

編集終了
編集を終了し、ファイルを閉じます。

■編集

元に戻す
直前に行った編集内容を元に戻します。

切り取り
カーソルで選択した範囲の文字を切り取ります。

コピー
カーソルで選択した範囲の文字をコピーします。

貼り付け
切り取り、またはコピーで選択した文字をカーソル位置に貼り付けます。

削除
カーソルで選択した範囲の文字を削除します。

すべて選択
編集中のテキスト全体を選択します。

切り替え
2 画面編集モード使用時のみ表示されます。編集ウインドウと参照ウインドウを切り替えます。（➔ 104 ページ）

■検索／挿入

検索
次を検索
置換
行指定ジャンプ
定型文
付箋文
文字パレット
タイムスタンプ

検索
編集中のテキスト内で、指定した文字列を検索します。
（➔ 43 ページ）

次を検索
直前に検索した文字列を続けて検索します。
（➔ 44 ページ）

置換
編集中のテキスト内で、指定した文字列を検索し、別の文字列に置き換えます。（➔ 45 ページ）

行指定ジャンプ
編集中のテキスト内で、指定した行にカーソルがジャンプします。（➔ 47 ページ）

定型文
定型文の登録と編集、挿入ができます。（➔ 48 ページ）

付箋文
付箋文の登録と編集、挿入ができます。（➔ 51 ページ）

文字パレット
シフト JIS コードを選択して文字や記号をカーソル位置に挿入します。（➔ 53 ページ）

タイムスタンプ
現在の日時をカーソル位置に挿入します。

■単語登録

登録 / 編集
よく使う単語や語句の登録と編集ができます。
(➔ 54 ページ)

登録単語エクスポート
本機で登録したユーザー辞書のデータを .dic ファイルとして SD カードに保存します。(➔ 57 ページ)

登録単語インポート
SD カードに保存した .dic ファイルを本機に読み込みます。
(➔ 58 ページ)

ATOK オプション
PC 版 ATOK ユーザー辞書、補助辞書を設定します。
(➔ 59 ページ)

■ツール

電子辞書
Bluetooth
QRコード表示
カレンダー表示
PCリンク
FlashAir
文字情報表示
空き容量表示
入力ヘルプ

電子辞書
国語辞典・英和辞典・和英辞典を閲覧することが出来ます。
(➔ 71 ページ)

Bluetooth
本機を iPhone などのキーボードとして使用したり、ケーブル接続せずにパソコンからアクセスしたりできます。
(➔ 75 ページ)

QR コード表示
編集中のテキストデータを QR コードに変換して表示します。(➔ 84 ページ)

カレンダー表示
カレンダーを表示します。F3 で月表示、週表示、日表示に切り替えられます。また、日付ごとにメモを作成できます。
(➔ 86 ページ)

PC リンク
電源を入れた状態の本機とパソコンをリンクするときに選択します。(➔ 89 ページ)

FlashAir
FlashAir™（別売）を利用して、作成したファイルを Evernote に投稿できます。(➔ 94 ページ)

文字情報表示
編集中のテキストの総文字数と総行数、選択中のテキストの文字数と行数を表示します。

空き容量表示
メモリのデータ利用状況を表示します。
表示単位は保存されているデータ量によって異なります。

入力ヘルプ
本機で使用できるショートカットの一覧とローマ字入力表を表示します。(➔ 124 ページ)

■書式

入力スタイル設定
使用する入力スタイルを ATOK または MS-IME から選択します。【初期設定：MS-IME】

表示文字サイズ切替
テキスト編集画面の表示文字のサイズを 8 つのサイズから選択します。【初期設定：24 × 24 ドットフォント 】

フレーム表示設定
テキストを、文字数と行数を指定して表示します。【初期設定：しない】（➔ 110 ページ）

表示方向設定
テキストの表示方向を、縦か横のどちらにするか選択します。【初期設定：横】

行間設定
テキストの行間を選択します。【初期設定：1/4 行】

タイムスタンプ設定
タイムスタンプの表示形式を設定します。【初期設定：2011/12/31 23:59】

カーソル位置保存設定
起動時のカーソルの位置を 3 種類から選択します。【初期設定：文頭】

制御文字表示設定
テキスト編集画面で、「改行マーク」「Tab マーク」「スペースマーク」を表示するかどうか設定します。【初期設定：しない】

句読点変換設定
4 種類の句読点（「。」「、」「？」「！」）を入力した時に、自動的に文字変換を行うか設定します。【初期設定：しない】（➔ 112 ページ）

■設定

日付と時刻設定
本機に内蔵されているカレンダーと時計を設定します。
(➔ 100 ページ)

パワーマネジメント
セットした単３形電池の種類(➔ 16 ページ)、オートパワーオフ機能とオープンパワーオン機能を設定します。
(➔ 101 ページ)

ファイル設定
デフォルトのファイル名と保存先、ファイル種類に加えて、2 画面編集モードを行うか設定します。【初期設定：ファイル保存先 / 本体メモリ、デフォルトファイル名 / 無題、2 画面編集モード / しない、デフォルトファイルの種類 / テキスト】(➔ 103 ページ)

パスワード設定
起動時、Bluetooth 接続時、メモリのフォーマット時、PC リンク時のパスワードを設定 / 解除します。【初期設定：パスワードなし】(➔ 106 ページ)

表示設定
初期画面、グリッド表示、QR コードの表示文字数を設定します。
【初期設定：初期画面 / 編集画面、グリッド表示 / しない、QR 設定 /200】(➔ 109 ページ)

バックライト
バックライトの輝度を設定します。

キー設定
キーボードの一部配列や機能を変更します。(➔ 113 ページ)

Language
メニュー画面、警告画面、システムメッセージの言語を選択します。【初期設定：日本語】

メモリのフォーマット
本体メモリやセットした SD カードを初期化します。
(➔ 120 ページ)

バージョン情報
ファームウェアのバージョンの確認やアップデートを行います。(➔ 124 ページ)

3 テキストの編集

テキストを入力する

電源を入れるとテキスト編集画面が表示されます。テキスト編集画面では、一般的なテキストエディタと同様の操作で入力、編集ができます。
本機のキーボード操作は基本的にパソコンのキーボード操作と同じです。メニュー画面で選択した入力スタイル（ATOK または MS-IME）に応じたショートカットを使うこともできます。（➔ 124 ページ）

カーソルキーでの範囲選択

本機でマウスは使用できません。編集中のテキストをコピーしたり、切り取ったりするときには、▲ / ▼ / ◀ / ▶（カーソル）キーを使って、コピーや切り取りを行う範囲を選択します。

1 **選択するテキストの開始位置にカーソルを合わせる**

2 **Shift キーを押しながら、▲ / ▼ / ◀ / ▶キーを押す**

選択するテキストの終了位置までカーソルを移動させ、選択範囲を指定します。

当社は1927年の創業以来、「人と情報活用」をテーマに独創的なファイル用品を数多く開発し、特に「キングファイル」は、日本のオフィスにファイリングという習慣を育ててまいりました。

また1988年に、ファイルのタイトル表示を作るという発想から、ラベルライター「テプラ」を開発。多彩な分野でのラベル表示に活用され、当社二つめの柱となりました。2008年に発売したデジタルメモ「ポメラ」は、「手軽にその場でスグにメモを取る」というシンプルなコンセプトが共感を集めています。

「ファイル」においても「テプラ」や「ポメラ」においても、当社はそのジャンルのパイオニアとして、それまでなかった新しい市場を開拓してまいりました。
顧客満足に立脚した「品質主義」はもとより、長い間愛される「デザイン」や、地球市民として「環境保全」に配慮した設計。メーカーとして、当社はひとつひとつの製品に、お客様へのメッセージを込めて市場に送り出しています。情報の整理と活用は、今後もさらに高度化し、その市場は新たな成長が期待されます。その中で当社の果たすべき使命は、ますます
アイディアメモ
00:00 CAP SD あ R漢

・ テキストの選択を解除するときは、Shift キーを押さずに▲ / ▼ / ◀ / ▶キーのいずれかを押します。
・ 1 ファイルあたりの最大文字数は全角 40000 文字です。

表を作成する

本機では、表形式のファイル（csv 形式）を作成できます。複数の項目や数値を管理したい場合に、ご活用ください。

1 **メニュー画面で「ファイル」－「新規作成（表)」を選択し、Enter キーを押す**

表の編集画面が表示されます。

・ 編集中のファイルがある場合、保存確認画面が表示されます。
・ 編集したファイルは、.csv（カンマ区切り）ファイルで保存されます。
・ 編集した表は QR コードに変換できます。その場合、ファイル形式はセルの内容がカンマで区切られた .txt ファイルになります。

表を編集する

表の編集画面では、テキスト編集画面と同様の操作で入力、編集ができます。キーボード操作も基本的にテキスト編集画面と同じです。
セルを選択、編集する場合は、以下の手順で行ってください。

1 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーでセルを選び、テキストを入力する

	A	B	C	D	E	F
1	番号	商品名	数量	価格		
2	1	みかん	一個	¥80		
3						
4						
5						
6	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]		
7	6	マンゴー	三個	¥500		
8	7	梨	三個	¥200		
9	8	かき	一個	¥150		
10	9	ぶどう	一房	¥500		
11	10	オレンジ	一個	¥130		
12						
13						
14						

みかん

無題*
00:00 CAP SD あ R漢

2 テキスト入力後、Enter キーを押す

セルの内容が変更され、編集エリアが閉じます。

・ セル内の最大文字数は全角 500 文字です。
・ 最大 27 列（A～Z）、1000 行まで編集することが出来ます。

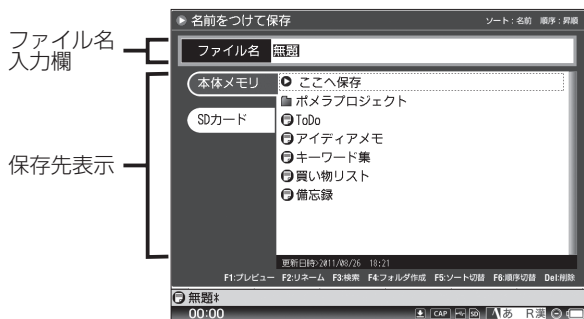
・ 本機ではセルを利用した計算などの処理はできません。
・ タブ区切りの .csv ファイルは、本機では開けません。
・ 表編集中の最大文字サイズは 32dot です。
・ 表編集中は、文字情報表示では行数が表示されません。
・ 表編集中、「行指定ジャンプ」「フレーム表示設定」「表示方向設定」「行間設定」「カーソル位置保存設定」は選択できません。
・ 作成した表をテキストに貼り付けることはできません。

ファイルを保存する

本機で編集したファイルに名前をつけて保存します。ファイルの保存先として本体メモリまたは SD カードを選択できます。

編集したファイルは、メモ形式の場合は .txt ファイル、表形式の場合は .csv ファイルで保存されます。

1 **メニュー画面で「ファイル」－「名前をつけて保存」を選択し、Enter キーを押す**

「名前をつけて保存」画面が表示されます。

ファイル / フォルダ管理画面に表示されるアイコンは以下の通りです。

保存アイコン

現在開いているフォルダにファイルを保存します。

テキストアイコン

本機で開けるテキスト形式のファイルです。

表アイコン

本機で開ける表形式のファイルです。

非対応ファイルアイコン

本機では開けない形式のファイルです。

フォルダアイコン

本機ではフォルダ内にあるデータを参照できます。選択して Enter キーを押すと、中にあるファイルやフォルダが表示されます。

非対応フォルダアイコン

フォルダ内に 3000 以上のファイル / フォルダがある場合、そのフォルダを開くことができません。

2 ファイル名を入力する

任意のファイル名を入力します。

ファイル名の最大入力文字数は、全角 18 文字です。

- ファイル名には、使用できない半角文字（" * ＋ , / : ; ＜ ＝ ＞ ? [¥] | ）があります。
- 半角スペースは、ファイル名の先頭には使用できません。

3 ▲ / ▼キーで、保存メモリ表示を選択する

保存されているファイルとフォルダが表示されます。

4 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーでファイルを保存したいフォルダを選択し、Enter キーを押す

選択したフォルダ内にあるファイルとフォルダが表示されます。

SD カードが本機にセットされていない場合は、SD カードタブは表示されず、選択できません。

5 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで「ここへ保存」を選択し、Enter キーを押す

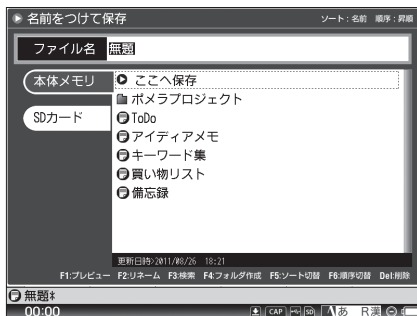
入力したファイル名でファイルが保存されます。

すでに存在するファイル名を入力すると、「上書き保存」の確認画面が表示されます。別の名前をつけ直す場合は「いいえ：N」を、すでに存在するファイルに上書きする場合は「はい：Y」を選択して Enter キーを押します。

フォルダを作成する

保存したファイルを整理するためのフォルダを作成します。フォルダの作成先として本体メモリまたは SD カードを選択できます。

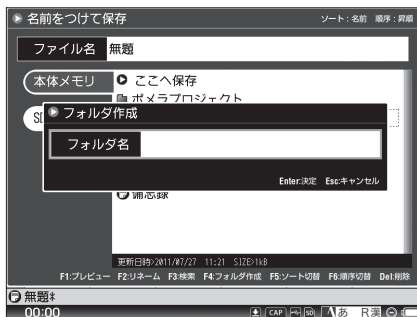
1　メニュー画面で「ファイル」－「名前をつけて保存」を選択し、Enter キーを押す

ファイル / フォルダ管理画面が表示されます。

「名前をつけて保存」以外のファイル / フォルダ管理画面でも、フォルダの作成は可能です

2　▲ / ▼ / ◀ / ▶キーでフォルダを作成したい保存メモリを選択する

既存のフォルダ内に作成する場合は、フォルダを選択して Enter キーを押してください。

3　F4 キーを押す

フォルダ名入力エリアが表示されます。

4 フォルダ名を入力する

任意のフォルダ名を入力します。

5 Enter キーを押す

入力したフォルダ名でフォルダが作成されます。

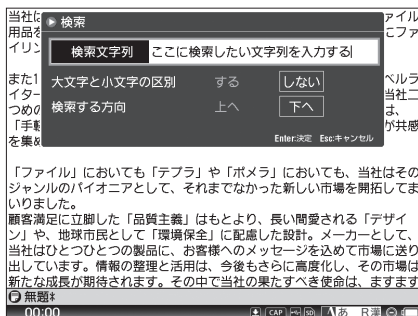
・ 新しいフォルダと同名のフォルダがある場合は、警告画面が表示され、フォルダは作成されません。
・ フォルダは 5 階層までしか作成できません。5 階層目でフォルダを作成しようとした場合、警告画面が表示され、フォルダは作成されません。
・ ファイルメニュー「開く」「ファイル / フォルダの削除」「ファイル / フォルダ名の変更」を選択した場合も、同じ操作でフォルダが作成できます。
・ フォルダ名の最大入力文字数は、１８文字です。

・ フォルダ名には使用できない半角文字（" * ＋ , / : ; ＜ ＝ ＞ ？ [¥] ｜ ）があります。
・ 半角スペースは、フォルダ名の先頭には使用できません。

テキストを検索する

編集中のテキスト内で、指定した文字列を検索して表示できます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」－「検索」を選択し、Enter キーを押す

「検索」画面が表示されます。

2 検索したい文字列を入力する

検索が可能な文字列は全角 18 文字までです。

3 ▲ / ▼キー（または Tab キー）でカーソルを移動し、◀ / ▶キーで検索条件を選択する

大文字と小文字の区別：

検索時に、大文字と小文字の区別をするかどうかを選択します。

検索する方向：

検索時に、カーソルを基準に検索する方向を選択します。

4 Enter キーを押す

検索条件に該当する文字列が検索されます。

「検索する文字列」が空欄の場合、Enter キーを押しても検索は開始されません。文字列を入力するか、Esc キーを押してください。メニュー画面が表示されます。

該当テキストを続けて検索する

同じ文字列を続けて検索します。同じ文字列を入力する手間を省くことができます。

1 **メニュー画面で「検索 / 挿入」－「次を検索」を選択し、Enter キーを押す**

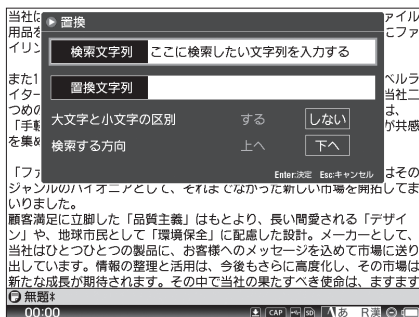
前回入力した検索条件に該当する文字列が検索されます。

・ F3(Shift + F3)キーを押しても、直前に検索した文字列を続けて検索できます。
・ 前回入力した文字列が無い場合、エラー画面が表示され、検索は開始されません。

検索したテキストを置き換える

文字列を検索し、指定した文字列と置換できます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」－「置換」を選択し、Enter キーを押す

「置換」画面が表示されます。

2 検索したい文字列を入力する

3 ▼キー（または Tab キー）で「置換文字列」を選択し、置換したい文字列を入力する

置換が可能な文字列は全角 18 文字までです。

4 ▲ / ▼キー（または Tab キー）でカーソルを移動し、◀ / ▶キーで検索条件を選択する

大文字と小文字の区別：

検索時に、大文字と小文字の区別をするかどうかを選択します。

検索する方向：

検索時に、カーソルを基準に検索する方向を選択します。

5 Enter キーを押す

検索条件に該当する文字列が検索され、「置換しますか？」とメッセージが表示されます。

当社は1927年の創業以来、「人と情報活用」をテーマに独創的なファイル
用品を数多く開発し、特に「キングファイル」は、日本のオフィスにファ
イリングという習慣を育ててまいりました。

また1988年に、ファイルのタイトル表示を作るという発想から、ラベルラ
イター『テプラ』を開発。多彩な分野でのラベル表示に活用され、当社の
二つ目の柱となりました。2008年に発売したデジタルメモ『ポメラ』は、
「手軽にその場で　置換しますか？　Esc:キャンセル　コンセプトが共感
を集めています。
はい：Y　いいえ：N　一括：A
「ファイル」にお　ても、当社はその
ジャンルのパイオニアとして、それまでなかった新しい市場を開拓してま
いりました。
顧客満足に立脚した「品質主義」はもとより、長い間愛される「デザイ
ン」や、地球市民として「環境保全」に配慮した設計。メーカーとして、
当社はひとつひとつの製品に、お客様へのメッセージを込めて市場に送り
だしています。情報の整理と活用は、今後もさらに高度化し、その市場は
新たな成長が期待されます。その中で当社のはたすべき使命は、ますます
無題*
00:00　CAP　SD　あ　R漢

6 ◀ / ▶キーでメニューを選択し、Enter キーを押す

はい：Y：

検索した文字列を置換し、次の文字列を検索します。

いいえ：N：

検索した文字列を置換しないで、次の文字列を検索します。

一括：A：

検索条件にあてはまる文字列を、全て置換します。

キャンセル：Esc：

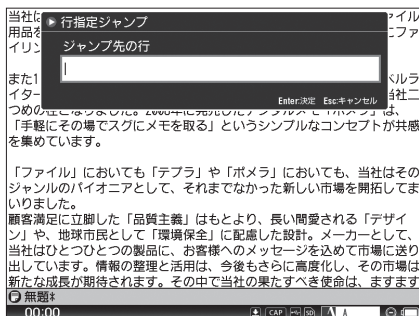
Esc キーを押すと、置換をしないでテキスト編集画面に戻ります。

「はい：Y」「いいえ：N」「一括：A」はそれぞれ、Y キー、N キー、A キーを押しても決定できます。

指定した行へジャンプする

編集中のテキスト内で、カーソルを指定した行へジャンプさせることができます。

1 **メニュー画面で「検索 / 挿入」－「行指定ジャンプ」を選択し、Enter キーを押す**

「行指定ジャンプ」画面が表示されます。

2 **ジャンプ先の行数を入力し、Enter キーを押す**

カーソルが指定した行へジャンプします。

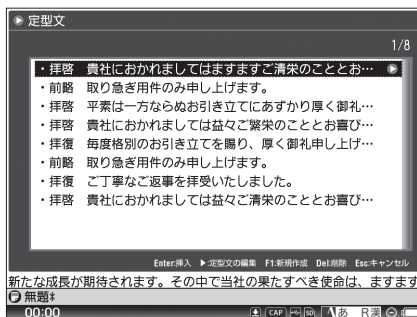
- ジャンプ先の行数を入力していない場合、Enter キーを押してもジャンプはできません。
- 実際に存在する以上の行数を入力した場合、最後の行へジャンプします。
- 表編集中は、行指定ジャンプは選択できません。

定型文を設定する

テキスト編集中に挿入できる定型文を設定します。定型文は、20 種類の文章が登録できます。

1 **メニュー画面で「検索 / 挿入」－「定型文」を選択し、Enter キーを押す**

登録した定型文の一覧が表示されます。

※登録した定型文がない場合、すぐに定型文の編集画面が表示されます。

登録した定型文は、文頭 25 文字のみ表示されます。

2 **F1 キーを押す**

「定型文の編集」画面が表示されます。

● 登録済の定型文を編集する場合

▲ / ▼キーで定型文を選択し、►キーを押す

「定型文の編集」画面が表示されます。

3 設定したい内容を入力し、Esc キーを押す

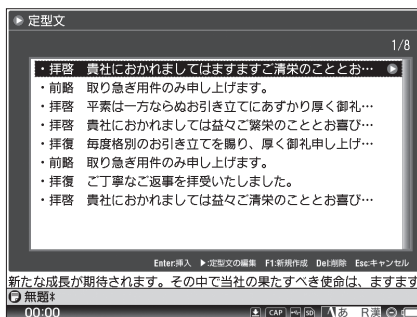
定型文が設定され、定型文一覧画面に戻ります。

- 定型文の最大登録文字数は、1 種類につき全角 500 文字までです。
- 定型文の編集中に Menu キーを押した場合、「編集」「検索」メニューのみ表示されます。
- 定型文の編集中は、表示文字サイズは変更できません。表示文字サイズはテキスト編集画面と同じになります。
- 削除したい定型文を選択し、Delete キーを押すと確認画面が表示され、定型文が削除できます。
- 定型文の編集中は、QR コードは表示できません。

定型文を挿入する

登録した定型文を挿入します。Alt ＋ F3 キーでも挿入できます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」－「定型文」を選択し、Enter キーを押す

登録した定型文の一覧が表示されます。

登録した定型文は、文頭 25 文字のみ表示されます。

2 ▲ / ▼キーで定型文を選択し、Enter キーを押す

選択した定型文がカーソル位置に挿入されます。

挿入した定型文は、次に定型文の一覧を表示したときに、一番上に表示されます。

付箋文の使い方

「付箋文」はテキストデータにはさむ「しおり」のような役割をします。テキストに「付箋文」を挿入すると、編集中にワンアクションで、「付箋文」の位置までジャンプすることができるようになります。大量のテキストの中に挿入することで、より効率的なテキスト編集ができます。初期設定では「★付箋文★」が挿入されます。

■付箋文を挿入する

1 **F1 キーを押す**

テキストに「付箋文」が挿入されます。

当社は1927年の創業以来、「人と情報活用」をテーマに独創的なファイル用品を数多く開発し、特に「キングファイル」は、日本のオフィスにファイリングという習慣を育ててまいりました。

★付箋文★

また1988年に、ファイルのタイトル表示を作るという発想から、ラベルライター「テプラ」を開発。多彩な分野でのラベル表示に活用され、当社二つめの柱となりました。2008年に発売したデジタルメモ「ポメラ」は、「手軽にその場でスグにメモを取る」というシンプルなコンセプトが共感を集めています。

「ファイル」においても「テプラ」や「ポメラ」においても、当社はそのジャンルのパイオニアとして、それまでなかった新しい市場を開拓してまいりました。
顧客満足に立脚した「品質主義」はもとより、長い間愛される「デザイン」や、地球市民として「環境保全」に配慮した設計。メーカーとして、当社はひとつひとつの製品に、お客様へのメッセージを込めて市場に送り

無題*
00:00 CAP SD あ R漢

■付箋文の位置にジャンプする

1 **F5 キーを押す**

カーソルが「付箋文」の位置にジャンプします。

当社は1927年の創業以来、「人と情報活用」をテーマに独創的なファイル用品を数多く開発し、特に「キングファイル」は、日本のオフィスにファイリングという習慣を育ててまいりました。

★付箋文★

また1988年に、ファイルのタイトル表示を作るという発想から、ラベルライター「テプラ」を開発。多彩な分野でのラベル表示に活用され、当社二つめの柱となりました。2008年に発売したデジタルメモ「ポメラ」は、「手軽にその場でスグにメモを取る」というシンプルなコンセプトが共感を集めています。

★付箋文★

「ファイル」においても「テプラ」や「ポメラ」においても、当社はそのジャンルのパイオニアとして、それまでなかった新しい市場を開拓してまいりました。
顧客満足に立脚した「品質主義」はもとより、長い間愛される「デザイ

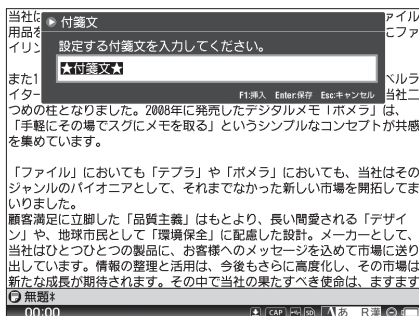
無題*
00:00 CAP SD あ R漢

カーソルより前の付箋文にジャンプする場合は Shift キー +F5 キーを押してください。

付箋文を設定する

F1 キーで挿入できる付箋文の内容を設定します。付箋文は全角 18 文字まで設定できます。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」－「付箋文」を選択し、Enter キーを押す

「付箋文設定」画面が表示されます。

初期設定は「★付箋文★」です。

2 設定したい内容を入力し、▲ / ▼キーで「挿入」を選んで Enter キーを押す

付箋文が設定され、テキスト編集画面に戻ります。

「付箋文」を空欄のまま設定することはできません。必ず文字列を入力してください。

シフト JIS コードで文字を入力する

読み方の分からない漢字や記号などをシフト JIS コードを使って入力します。

1 メニュー画面で「検索 / 挿入」－「文字パレット」を選択し、Enter キーを押す

「文字パレット」画面が表示されます。

2 入力したい文字のシフト JIS コードを入力する

シフト JIS コードは本マニュアルには記載していません。市販の辞書などを参照してください。

●入力したい文字のシフト JIS コードが分からない場合

1.▼キー、または Tab キーを押す

「文字パレット」エリアがアクティブになります。

2.▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで入力したい文字を選択する

3 Enter キーを押す

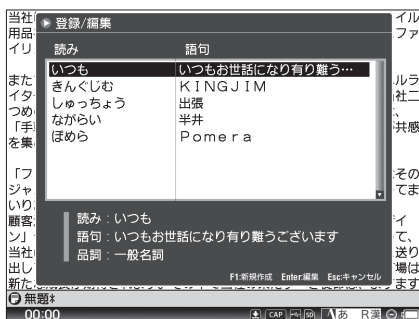
テキスト編集画面に指定した文字が挿入されます。

単語登録を管理する

単語を登録する

よく使う単語や語句を単語登録します。

1 メニュー画面で「単語登録」－「登録 / 編集」を選択し、Enter キーを押す

「登録 / 編集」画面が表示されます。
※登録した単語がない場合、すぐに単語登録画面が表示されます。

2 F1 キーを押す

単語登録画面が表示されます。

3 ▲ / ▼キーで入力項目を移動し、登録したい単語のデータを入力する

読み：

登録したい単語の読み方を入力します。

語句：

登録する単語を入力します。

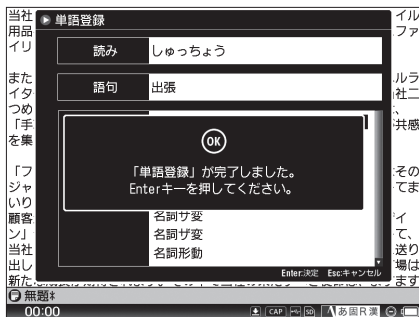
品詞：

登録する単語の品詞を選択します。選択できる品詞は 33 種類です。

・ 読みの最大入力文字数は全角 8 文字です。
・ 語句の最大入力文字数は全角 18 文字です。

「読み」の登録には使用できない文字があります。（➔ 134 ページ）

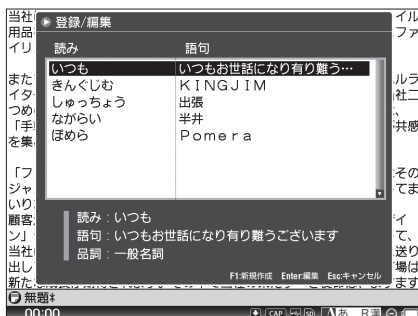
4 Enter キーを押す

登録完了のメッセージが表示され、「登録 / 編集」画面に戻ります。

最大 1000 語まで単語登録できます。（語句７文字、読み７文字の場合）

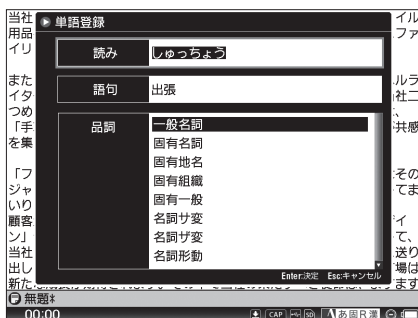
登録する単語によっては動詞の活用に対応しないものがあります。その場合は、一般名詞や固有名詞などで登録してください。

登録した単語を編集する

登録した単語を編集します。登録単語の削除もできます。

1 メニュー画面で「単語登録」－「登録 / 編集」を選択し、Enter キーを押す

「登録 / 編集」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼キーで編集したい単語を選択し、Enter キーを押す

単語編集画面が表示されます。

●登録した単語を削除する場合

1. ▲ / ▼キーで削除したい単語を選択し、Delete キーを押す

「登録単語の削除」確認画面が表示されます。
複数の単語を選択する場合は、Shift キーを押しながら▲ / ▼キーを押してください。

2. ◄ / ►キーで「はい :Y」を選択し、Enter キーを押す

登録単語が削除され、「登録 / 編集」画面に戻ります。

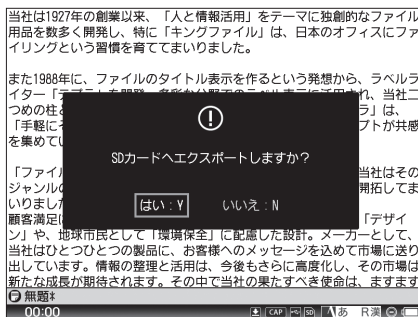
3 単語のデータを変更し、Enter キーを押す

入力した単語のデータが保存され、「登録 / 編集」画面に戻ります。

登録した単語を SD カードに保存する

登録した単語を .dic ファイルとして SD カードに保存します。

1 メニュー画面で「単語登録」－「登録単語エクスポート」を選択し、Enter キーを押す

「登録単語エクスポート」画面が表示されます。

2 ◀ / ▶キーで「はい：Y」を選択し、Enter キーを押す

登録した単語が SD カードに保存され、メニュー画面に戻ります。

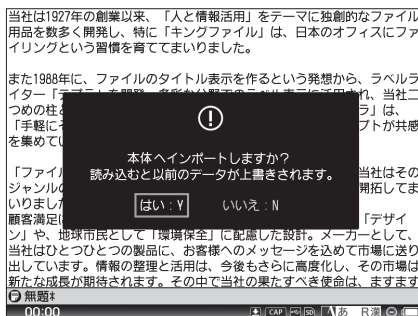
- 「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。
- 既に SD カード内に .dic ファイルがある場合、ファイルは上書きされます。

SD カードに保存した辞書データを本体へ読み込む

SD カードに保存した .dic ファイルを本体メモリへ読み込みます。

1 メニュー画面で「単語登録」－「登録単語インポート」を選択し、Enter キーを押す

「登録単語インポート」画面が表示されます。

本体へインポートしますか？
読み込むと以前のデータが上書きされます。
はい：Y　いいえ：N

2 ◄ / ►キーで「はい：Y」を選択し、Enter キーを押す

SD カードに保存されていた .dic ファイルが本体に読み込まれ、メニュー画面に戻ります。

「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。

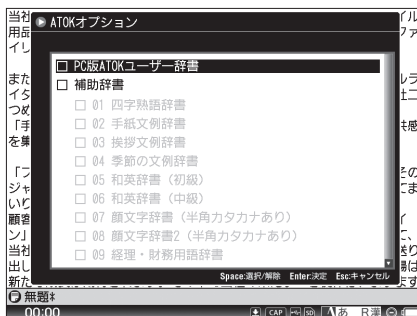
- DM10、DM5、DM11G、DM20、DM20Y でお使いの ATOK 辞書データは、DM100 にインポートして使用できます。
- DM100 でお使いの ATOK 辞書データは、DM10、DM5、DM11G、DM20（DM20Y）では使用できません。

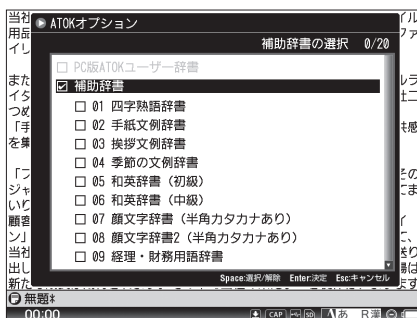
ATOK オプションを設定する

ATOK の補助辞書から、本機で追加使用する辞書を選択します。

補助辞書を設定する

1 **メニュー画面で「単語登録」－「ATOK オプション」を選択し、Enter キーを押す**

「ATOK オプション設定」画面が表示されます。

2 **▲ / ▼キーで「補助辞書」を選択し、スペースキーを押す**

辞書名が選択できるようになります。

3 ▲ / ▼キーでカーソルを移動し、スペースキーでオプション辞書を選択する

・ オプション辞書は 30 種類のうち 20 種類まで選択できます。
・ 既に選択したオプション辞書にカーソルをあわせてスペースキーを押すと、選択が解除されます。
・ PC 版 ATOK ユーザー辞書をインポートした場合、オプション辞書の設定は解除されます。

4 Enter キーを押す

オプション辞書が設定され、メニュー画面に戻ります。

PC 版 ATOK ユーザー辞書をインポートする

PC 版 ATOK で登録した単語などを、本機で使用します。

PC 版 ATOK ユーザー辞書は、約 20,000 語（語句 7 文字、読み 7 文字の場合）まで本機にインポートできます。

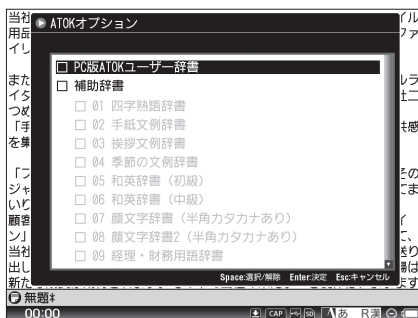
・ あらかじめ、PC 版 ATOK に登録した単語を「pcatok.txt」というファイル名で、.txt ファイルとして保存してください。
・ PC 版 ATOK に登録されている単語を .txt ファイルとして保存する方法については、PC 版 ATOK のヘルプをご参照ください。

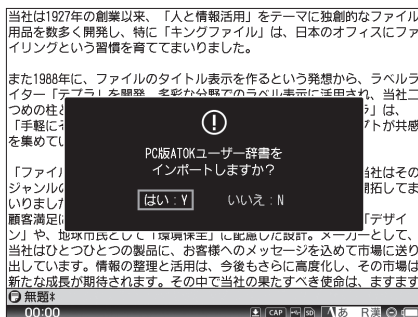
PC 版 ATOK 登録辞書をインポートすると、ATOK オプションの補助辞書は使用できません。既に補助辞書が設定されている場合、自動的に解除されます。

1 本機をパソコンと接続し、PC 版 ATOK の単語登録ファイル（pcatok.txt）を「PcAtok」フォルダに保存します。

パソコンとの接続については、「パソコンと接続（リンク）する」（➔ 89 ページ）をご確認ください。

2 メニュー画面で「単語登録」－「ATOK オプション」を選択し、Enter キーを押す

ATOK オプション選択画面が表示されます。

3 ▲ / ▼キーで「PC 版 ATOK ユーザー辞書」を選択し、スペースキーを押す

インポート確認画面が表示されます。

4 ◀ / ▶キーで「はい：Y」を選択し、Enter キーを押す

PC 版 ATOK 登録辞書が本機に読み込まれたあと、インポート完了画面が表示され、メニュー画面に戻ります。

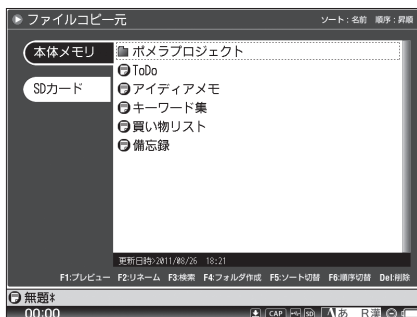
- PC 版 ATOK ユーザー辞書の登録単語数が多いと、インポートするのに時間がかかる場合があります。
- 一度 PC 版 ATOK ファイルをインポートしたあと、新しい ATOK ファイルを使用する場合、パソコンと接続して本機から「pcatok.txt」を一旦削除し、もう一度新しい「pcatok.txt」を「PcAtok」フォルダに保存してください。

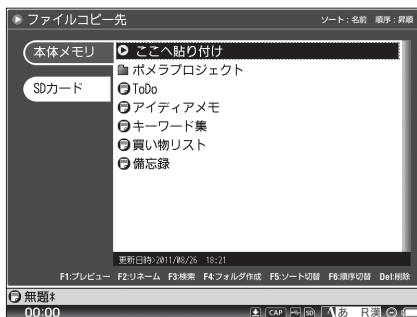
4 ファイル / フォルダの管理

ファイルをコピー / 移動する

保存したファイルを本体メモリと SD カード間、フォルダ間でコピーまたは移動できます。コピーは元のファイルを残したまま複製します。移動する場合は、元の場所にファイルは残りません。

1 **メニュー画面で「ファイル」－「ファイルのコピー」または「ファイルの移動」を選択し、Enter キーを押す**

「ファイルのコピー（移動）元」の選択画面が表示されます。

2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶ キーでコピー（または移動）したいファイルを選択して Enter キーを押す**

「ファイルのコピー（移動）先」の選択画面が表示されます。

3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーでファイルのコピー(または移動)先を選択し、▲ / ▼キーで「ここへ貼り付け」を選択して、Enter キーを押す

ファイルがコピー（移動）され、「ファイルのコピー（移動）元」選択画面に戻ります。

コピー（移動）先にフォルダを選択する場合、フォルダを開いて中身を確認してから、「ここへ貼り付け」を選択してください。

フォルダはコピー / 移動できません。

- 「ファイルのコピー」の場合、コピー先に同名のファイルがある場合は、「コピー～ファイル名」というファイル名で保存されます。
- 「ファイルの移動」の場合、移動先に同名のファイルがある場合は、「上書き保存」の確認画面が表示されます。
- ファイル / フォルダ管理画面では、一部ショートカットキーの機能が変わります。

注意

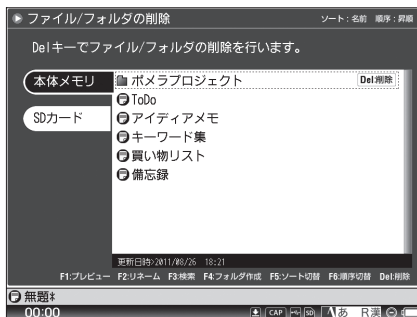
- コピー（または移動）先の容量が不足している場合、保存作業は中断されます。
- 編集中のファイルは移動できません。
- SD カードがロックされている場合、データの閲覧、コピー以外、カードのデータは操作できません。

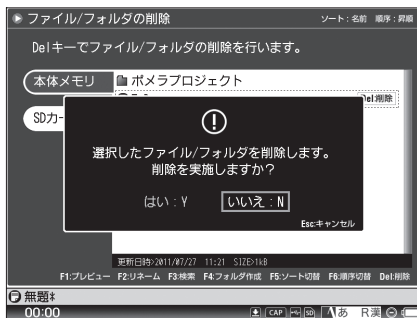
ファイル / フォルダを削除する

保存したファイル / フォルダを削除します。削除したファイル / フォルダは元に戻せません。

ファイルを削除する

1 **メニュー画面で「ファイル」－「ファイル / フォルダの削除」を選択し、Enter キーを押す**

「ファイル / フォルダの削除」画面が表示されます。

2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで削除したいファイルを選択し、Enter キー（または Delete キー）を押す**

確認画面が表示されます。

Shift+ ▲ / ▼キーで、複数のファイルが選択できます。

3 ◀ / ▶キーで「はい：Y」を選択し、Enter キーを押す

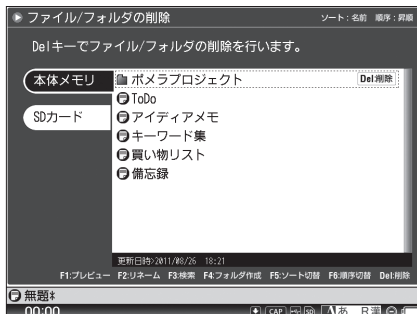
ファイルが削除され、「ファイル / フォルダの削除」画面に戻ります。

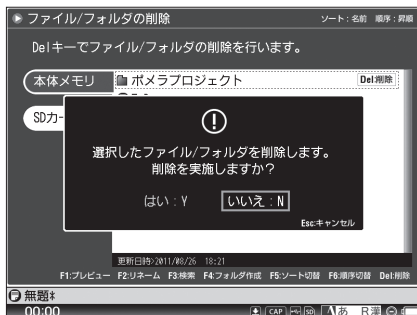
・「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。
・ファイル/フォルダ管理画面では、一部ショートカットキーの機能が変わります。

・削除したファイルは元に戻せません。
・編集中のファイルを削除する場合は、編集作業を終了してから操作を行ってください。

フォルダを削除する

1 メニュー画面で「ファイル」－「ファイル / フォルダの削除」を選択し、Enter キーを押す

「ファイル / フォルダの削除」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで削除したいフォルダを選択し、Delete キーを押す

確認画面が表示されます。

Shift ＋ ▲ / ▼キーで、複数のフォルダが選択できます。

3 ◀ / ▶キーで「はい：Y」を選択し、Enter キーを押す

フォルダが削除され、「ファイル / フォルダの削除」画面に戻ります。

- 「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。
- ファイル / フォルダ管理画面では、一部ショートカットキーの機能が変わります。

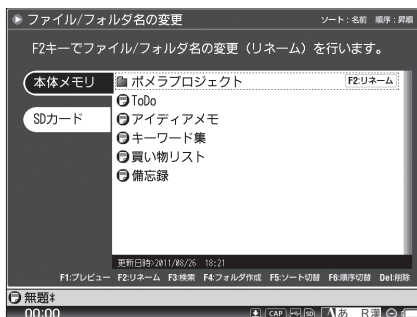
- 削除したフォルダは元に戻せません。
- フォルダを削除した場合、フォルダ内に保存されていたファイルも削除されます。
- 編集中のファイルを削除する場合は、メニュー画面で「ファイル」－「編集終了」を選択し、編集作業を終了してから操作を行ってください。

ファイル / フォルダ名を変更する

保存したファイル / フォルダの名前を変更します。

ファイル名を変更する

1　メニュー画面で「ファイル」－「ファイル / フォルダ名の変更」を選択し、Enter キーを押す

「ファイル / フォルダ名の変更」画面が表示されます。

2　▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで名前を変更したいファイルを選択し Enter キー（または F2 キー）を押す

リネーム欄が表示されます。

3　新しいファイル名を入力し、Enter キーを押す

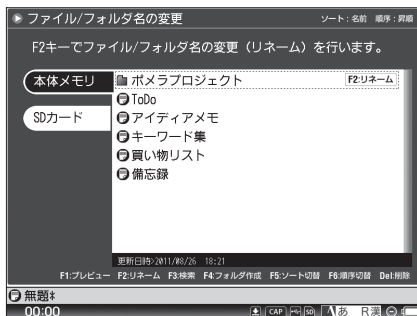
ファイル名が変更され、テキスト編集画面に戻ります。

・ファイル名の最大入力文字数は、全角 18 文字です。
・新しいファイル名と同名のファイルがある場合は、「上書き保存」の確認画面が表示されます。

・ファイル名には使用できない半角文字（" * + , / : ; < = > ? [¥] | ）があります。
・半角スペースは、ファイル名の先頭には使用できません。
・編集中のファイルの名前を変更する場合は、新規ファイルを作成するなどして、編集作業を終了してから操作を行ってください。

フォルダ名を変更する

1 **メニュー画面で「ファイル」－「ファイル / フォルダ名の変更」を選択し、Enter キーを押す**

「ファイル / フォルダ名の変更」画面が表示されます。

2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで名前を変更したいフォルダ選択し、F2 キーを押す**

リネーム欄が表示されます。

3 **新しいフォルダ名を入力し、Enter キーを押す**

フォルダ名が変更され、テキスト編集画面に戻ります。

・ フォルダ名の最大入力文字数は、全角１８文字です。
・ 新しいフォルダ名と同名のフォルダがある場合は、警告画面が表示され、フォルダの名前は変更されません。

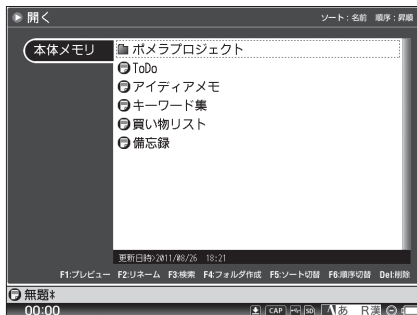
・ フォルダ名には使用できない半角文字（" * + , / : ; < = > ? [¥] | ）があります。
・ 半角スペースは、フォルダ名の先頭には使用できません。
・ 編集中のファイルがあるフォルダの名前を変更する場合は、新規ファイルを作成するなどして、編集作業を終了してから操作を行ってください。

・ ファイル / フォルダ管理画面では、一部ショートカットキーの機能が変わります。

ファイル / フォルダを検索する

本体メモリと SD カードに保存したファイル / フォルダを検索します。

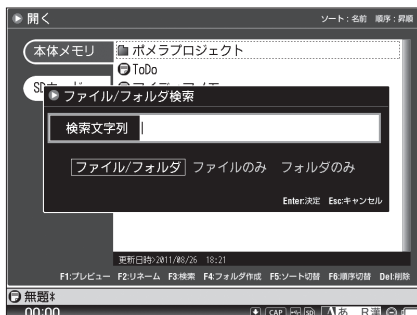
1 メニュー画面で、「ファイル」－「開く」を選択し、Enter キーを押す

ファイル / フォルダ管理画面が表示されます。

「開く」以外のファイル / フォルダ管理画面でも、ファイル / フォルダ検索は可能です。

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーでファイル / フォルダを検索したい保存先を選択する

保存先にあるファイル / フォルダの一覧が表示されます。

3 F3 キーを押す

検索文字列入力エリアが表示されます。

4 検索したいファイル / フォルダ名を入力する

ファイル / フォルダ名の最大入力文字数は、全角１８文字です。

5 ▲ / ▼キー（または Tab キー）でカーソルを移動し、◀ / ▶キーで検索条件を選択する

6 Enter キーを押す

検索条件に該当するファイル / フォルダが検索されます。

- 検索対象は、表示しているフォルダ階層以下にあるファイル / フォルダです。
- 検索結果が表示されている状態で Esc キーを押すと、ファイル / フォルダ管理画面に戻ります。
- 検索方式は部分一致です。

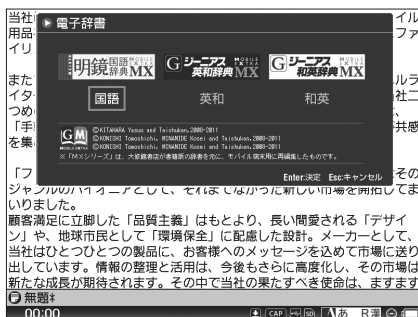
5 ツールを活用する

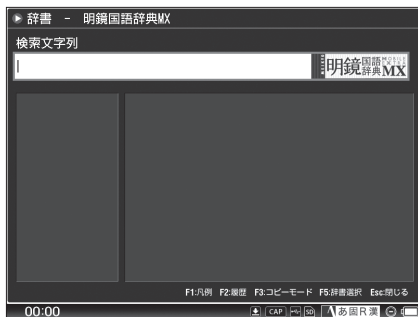
電子辞書を閲覧する

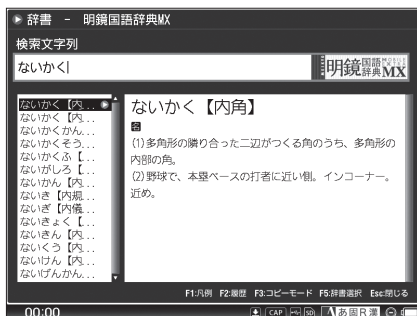
本機には、「明鏡国語辞典 MX」「ジーニアス英和辞典 MX」「ジーニアス和英辞典 MX」という 3 つの辞書が内蔵されています。

電子辞書は、サイドキーですぐに呼び出せます。

1 **メニュー画面で「ツール」－「電子辞書」を選択し、Enter キーを押す**

電子辞書選択画面が表示されます。

2 **◄ / ►キーで閲覧したい辞書を選択し、Enter キーを押す**

選択した電子辞書が表示されます。

3 調べたい単語を入力する

検索結果がリスト表示されます。

テキスト編集中などに、文字列を選択してサイドキーの辞書ボタンを押すと、選択した文字列を辞書で検索できます。（表編集中は、この機能は使用できません）

4 ▲ / ▼キーで検索結果を選択し、右（または Enter）キーを押す

単語説明画面にフォーカスが移動します。

5 ▲ / ▼キーを押す

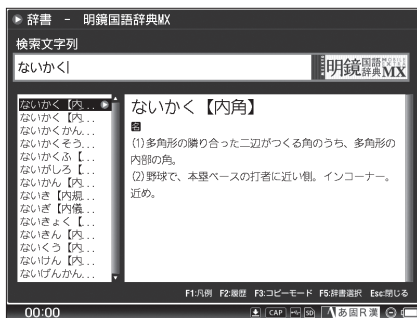
単語の説明が長い場合、画面をスクロールさせることで、全文が確認できます。

- 検索をやりなおすときは、Esc キーを押してください。検索欄がクリアされ、再度単語が入力できるようになります。
- F1 キーを押すと、凡例が確認できます。
- F2 キーを押すと、検索履歴が確認できます。辞書ごとに、過去 100 件の履歴までさかのぼることができます。
- 「ジーニアス英和辞典 MX」「ジーニアス和英辞典 MX」を開いている場合、F4 キーを押すと、発音記号の解説が確認できます。

電子辞書の内容をコピーする

調べた単語についての説明を、編集中のファイルにコピー出来ます。

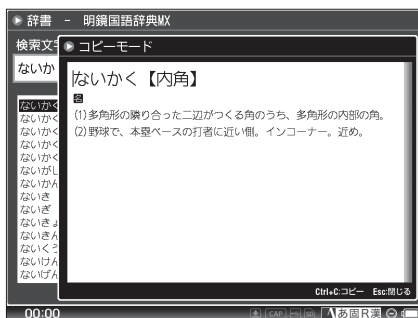
英和辞書・和英辞書で表示される発音記号はコピーできません。

1 **コピーしたい単語の説明を検索する**

2 **▲ / ▼キーで単語を選択し、右（または Enter）キーを押す**

単語説明画面にフォーカスが移動します。

ツールを活用する

3 F3 キーを押す

コピーモード画面が表示されます。通常のコピーと同じく、テキストを選択して Ctrl キーと C キーを押すことで、説明内容がコピーできます。

Bluetoothを活用する

Bluetooth機能を利用すると、本機をiPhoneなどのキーボードとして使用ができる他、ケーブル接続せずにパソコンからアクセスできます。

- Bluetooth画面は、サイドキーですぐに呼び出せます。
- Bluetooth使用中は、他の機能は使用できません。

iPhoneなどと接続してキーボードとして使う

iPad / iPhone / iPod touchとBluetoothで接続すると、本機をキーボードとして使用できるようになります。初めてiPhoneなどと接続するときは、ペアリング（接続の認証）が必要になります。ここでは、iPhoneでの操作を例にしています。

- 本機のBluetooth接続機能は、以下の機器に対応しています。
  iPad ：iPad第3世代、iPad2、iPad
  iPhone ：iPhone5、iPhone4S、iPhone4、3GS
  iPod touch ：第4世代、第3世代
  ※iOS4.0以降にソフトウェアアップデートされていること
- 最新の対応機種情報につきましては、弊社HPをご参照ください。
  http://www.kingjim.co.jp/
- ポメラ本体にパスワードが設定されている場合、認証画面が表示されます。

1 iPhone のホーム画面で「設定」－「一般」－「Bluetooth」を選択し、Bluetooth をオンにする

周辺の Bluetooth 機器が検索されます。

2 本機のメニュー画面で「ツール」－「Bluetooth」を選択し、Enter キーを押す

Bluetooth 選択画面が表示されます。

3 ◀ / ▶で「キーボード」を選択し、Enter キーを押す

Bluetooth 検索画面が表示されます。

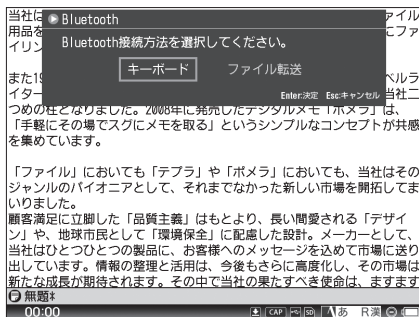
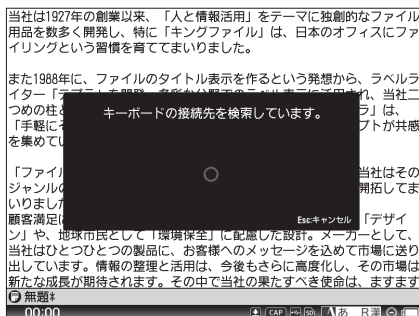
当社は1927年の創業以来、「人と情報活用」をテーマに独創的なファイル
用品を数多く開発し、特に「キングファイル」は、日本のオフィスにファ
イリングという習慣を育ててまいりました。

また1988年に、ファイルのタイトル表示を作るという発想から、ラベルラ
イター「
つめの柱
「手軽に
を集めて

「ファイ
ジャンル
いりまし
顧客満足
ン」や、地球市民として「環境保全」に配慮した設計。メーカーとして、
当社はひとつひとつの製品に、お客様へのメッセージを込めて市場に送り
出しています。情報の整理と活用は、今後もさらに高度化し、その市場は
新たな成長が期待されます。その中で当社の果たすべき使命は、ますます

キーボードの接続先を検索しています。

Esc:キャンセル

無題*
00:00

4 iPhone で、検出された「DM100」を選択する

パスキーが表示されます。

5 本機にパスキーを入力し、Enter キーを押す

iPhone に「接続されました」と表示されれば、接続成功です。

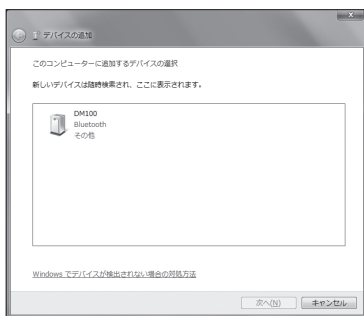
・ Bluetooth キーボードとして利用している場合、一定時間（2 分 30 秒）キー入力をしない状態（無通信状態）が続くと、オートパワーオフ機能が作動して電源がオフされるため、再接続を行う必要があります。メニュー画面で「ツール」－「Bluetooth」から、再度キーボード接続を行うと、パスキーを入力せずに接続できます。

・ ポメラを Bluetooth キーボードとして利用する場合、キーボード配列は iPhone のキーボード設定に準じたものとなります。詳しくは 131 ページをご覧ください。
・ Bluetooth キーボードとして使用している間、親指シフト設定は無効になります。

パソコンなどと接続してファイルを転送する

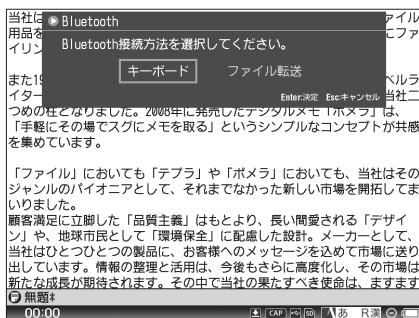
本機とパソコンを Bluetooth で接続することで、パソコンから本機にアクセスができるようになります。初めてパソコンと接続する場合は、ペアリング（接続の認証）が必要になります。ここでは、Windows7 での操作を例にしています。

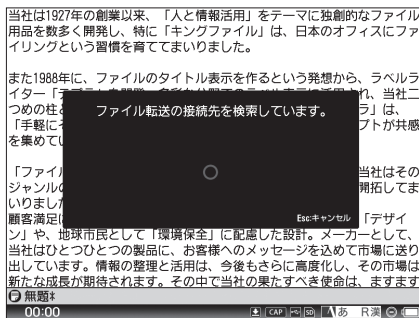
1 パソコンの通知領域にある Bluetooth アイコン を右クリックし、メニューから「デバイスの追加」をクリックする

「デバイスの追加」画面が表示されます。

- Windows7 使用時に、通知領域に が表示されている場合は、 をクリックして Bluetooth アイコン をクリックしてください。
- アイコンが表示されていない場合は、「スタート」－「すべてのプログラム」－「Bluetooth」を選び、「Bluetooth 設定」をクリックしてください。

- 事前に Bluetooth 用 USB アダプタなどが用意され、パソコンに接続・認識が行われている必要があります。
- お使いのパソコンに Bluetooth 機能が搭載されていても、本機と Bluetooth 通信が行えない場合があります。あらかじめご了承ください。

2 本機のメニュー画面で「ツール」－「Bluetooth」を選択し、Enter キーを押す

Bluetooth 選択画面が表示されます。

3 ◀ / ▶で「ファイル転送」を選択し、Enter キーを押す

Bluetooth 検索画面が表示されます。

4 パソコンで、検出されたポメラのアイコンをクリックし、[次へ] をクリックする

パスキーが表示されます。

5 本機にパスキーを入力し、Enter キーを押す

パソコンに以下の画面が表示されれば、接続成功です。パソコンのBluetooth フォルダにある pomera フォルダや SD フォルダを開くと、本機内のデータが確認できます。

- パスキーの入力に失敗した場合、パソコンに「設定情報の登録に失敗しました」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックし、手順３からやり直してください。
- 本機と接続する機器によっては、パスキーの照合だけでなく、さらに追加の手順が必要な場合があります。ご使用の機器の画面指示に従ってください。

Bluetooth 接続がうまくいかない場合は、以下の項目を確認して下さい。

- 本機と接続デバイスが離れすぎている場合は、近づけて使用してください。また、間に通信を遮断する可能性があるものを、置いたり覆いかぶせたりしないでください。
- スチール製の机や棚など、金属面での使用は避けてください。
- 近くで他の Bluetooth 機器やワイヤレス機器を使用している場合は、距離を取るかスイッチを切ってください。
- 本機や接続デバイスの電池残量が少なくなっている場合は、電池を交換するか充電してください。
- 電池残量が 以下の場合、Bluetooth 機能は起動しません。

接続終了について

Bluetooth 接続を終了する場合は、本機で切断操作を行ってください。

1 **Menu キー、または Bluetooth（サイドキー）を押す**

本機の Bluetooth 機能がオフになり、編集画面に戻ります。

- iPhone などとのキーボード接続を終了する場合、iPhone 側のホーム画面から「設定」－「一般」－「Bluetooth」を選択しオフにすることで、切断することもできます。
- PC 側で Bluetooth 通信を終了する方法は、お使いの Bluetooth 用 USB アダプタメーカーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の電源をオフにすると、Bluetooth 接続は自動的に終了します。
- 本機は、5 台までのデバイスとのペアリング情報を保持する「マルチペアリング」に対応しています。複数のデバイスで利用する場合でも、それぞれの機器と 1 度ペアリングを行うと、接続先を変更するたびに、ペアリング設定をやり直す必要はありません。
- 接続先の変更を行う場合は、本機及び現在接続しているデバイスの Bluetooth 接続を終了し、本機と接続したいデバイスのみ Bluetooth 機能をオンにして、再度 Bluetooth 接続を行ってください。

QR コードを作成する

編集中のテキストデータを QR コードに変換して表示します。携帯電話などの QR コードリーダーなどを利用することで、長文のメール作成やブログの更新などが簡単に行えます。

QR コード画面は、サイドキーですぐに呼び出せます。

1 **メニュー画面で「ツール」－「QRコード表示」を選択し、Enter キーを押す**

テキストデータが変換され、QR コード画面が表示されます。

- 変換するテキストの文字数が「表示設定」で設定した文字数を超える場合、テキストは分割され、QR コードが複数作成されます。総数は QR コードの上に表示されます。
- QR コードに変換できる最大文字数は全角 4800 文字です。（QR 設定が「300 文字」の場合）
- 改行、tab、スペースなどの制御文字はそれぞれ 1 文字として計算されます。

● QR コードが複数作成された場合

1. ▲ / ▼キーを押す

表示される QR コードが切り替わります。

以下のキー操作でも、表示される QR コードが切り替えられます。

Tab キー / Enter キー / スペースキー

次の QR コードを表示します。

Shift + Tab キー / Shift + Enter キー / Shift + スペースキー

前の QR コードを表示します。

- **QR コード 1 つあたりの文字数は変更できます。「画面表示を設定する」（➔ 109 ページ）をご参照ください。**
- テキストデータの量などによっては、変換に時間がかかる場合があります。
- QR コードの読み取り方法、読み込んだテキストデータの処理（保存先や対応アプリ）については、携帯電話各機種の取扱説明書でご確認をお願いいたします。
- 携帯電話の操作・仕様については携帯電話各機種の製造元へお問い合わせください。

- 本機で表示される QR コードの 1 つあたりの最大表示情報量は 600 バイトです。
- ご使用の携帯電話の機種によっては、QR コードの読み取り機能がついていても、液晶画面のコントラストやバイト数などの条件により、データの読み取りができない場合があります。また、QR コード一つあたりの表示情報量を変更しても、データの読み取りができない場合があります。あらかじめご了承ください。

日付メモを作成する

日付を指定して、メモを作成します。スケジュールのメモや日記の作成などができます。

カレンダー画面は、サイドキーですぐに呼び出せます。

1 メニュー画面で「ツール」－「カレンダー表示」を選択し、Enter キーを押す

「カレンダー」画面が表示されます。

- F1 キー（Alt ＋ ▲キーまたは Shift ＋ Tab キー）で前の月のカレンダーが表示できます。
- F2 キー、（Alt ＋ ▼キーまたは Tab キー）で次の月のカレンダーが表示できます。
- F3 キーで、月表示、週表示、日表示の切り替えができます。

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーでメモを作成したい日付を選択し、Enter キーを押す

「日付メモ」編集画面が表示されます。

既に日付メモの存在する日付を選択すると、編集画面に既存のメモが表示されます。

3 テキストを入力し、Esc キーを押す

日付メモが保存され、カレンダー画面が表示されます。

・日付メモの編集中は、表示文字サイズは変更できません。また、QR コード表示もできません。
・月表示の場合、日付メモが保存された日付には、「●」マークが表示されます。
・日付メモの最大文字入力数は 1 日あたり全角 8,000 文字です。
・改行、tab、スペースなどの制御文字はそれぞれ 1 文字として計算されます。
・メモリ容量を超えた場合、新しいメモは作成できませんが、過去の日付メモは閲覧できます。
・日付メモの編集中に Menu キーを押した場合、「編集」「検索 / 挿入」メニューのみ表示されます。
・「●」マークのある日付を選択し、Delete キーを押すと確認画面が表示され、日付メモが削除できます。

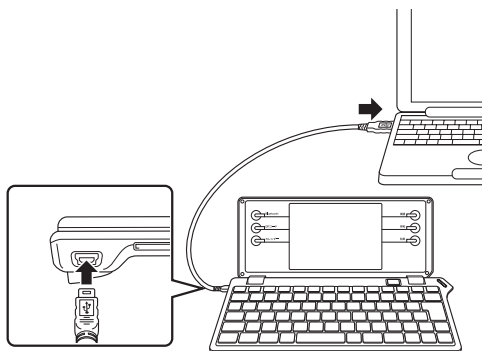
- 日付メモは通常のテキスト編集画面では編集できません。
- 日付メモのテキストデータは SD カードには保存できません。
- メモリ容量には限りがあります。残り容量が少なくなった場合は、PC リンクを使って重要なメモのバックアップを取るか、不要なメモを削除してください。
- 本機は、2011/1/1 から 2050/12/31 までのカレンダーを搭載しています。

パソコンと接続（リンク）する

本機とパソコンを付属のケーブルで接続（リンク）することで、パソコンから本機のファイルへのアクセスが可能になります。

■本機の電源が入っている場合

1 **本機とパソコンを同梱の専用 USB ケーブルで接続する**

USB ケーブルを接続すると、画面上に USB 接続アイコンが表示されます。

2 **メニュー画面で、「ツール」－「PC リンク」を選択して、Enter キーを押す**

本機が PC リンク状態となり、新しいハードウェアとしてパソコンに本体メモリ、日付メモ、SD カードおよび PC 版 ATOK ユーザー辞書の保存領域が認識されます。本機のテキスト編集画面には「PC リンク」画面が表示されます。

本機にパスワードが設定されている場合は、認証画面が表示されます。パスワードを入力して、Enter キーを押してください。パスワードが間違っていると、本機は PC リンク状態になりません。

注意

・ パソコンに対して、同時に複数のポメラは接続できません。
・ 対応 OS については、仕様（➔ 140 ページ）をご確認ください。

■本機の電源が入っていない場合

1 **本機とパソコンを同梱の専用 USB ケーブルで接続する**

本機が新しいハードウェアとしてパソコンに認識されます。

本機にパスワードが設定されている場合は、電源が入っていない状態で USB ケーブルを接続しても本体メモリと日付メモにはアクセスできません。また、PC 版 ATOK ユーザー辞書の保存領域にもアクセスすることはできません。SD カードにのみアクセスできます。本体メモリにアクセスしたい場合は、パスワードを使用して本機を起動してから 89 ページの方法で接続してください。

パソコンでポメラ内のファイルを開く

パソコンと接続すると、パソコンから本体メモリや SD カードのファイルを開けます。ここでは、Windows7 での操作を例にしています。

1 **パソコンの [コンピューター] から、本体メモリ（または日付メモ、SD カード）のドライブを選択する**

本体メモリ（または日付メモ、SD カード）内のフォルダが表示されます。

2 **開きたいファイルを右クリックし、表示されたメニューから「開く」を選択する**

パソコンのアプリケーションが起動し、ファイルが開きます。

本機とパソコンの間でファイルをコピー／移動する

パソコンと接続すると、本体メモリや SD カードとパソコンの間で様々なファイルをコピー（または移動）できます。ただし、本機では保存したファイルのうち .txt ファイルと .csv ファイル（カンマ区切り）しか開けません。ここでは、Windows7 での操作を例にしています。

- 本機では、全角 40,000 文字を超える文字数のファイルは開けません。
- 本機では、ファイル名が全角 18 文字を超えるファイルは開けません。

1 **パソコンの [コンピューター] から、コピー（または移動）したいファイルのあるフォルダを選択する**

フォルダ内のファイルが表示されます。

2 **ファイルを右クリックし､表示されたメニューから「コピー（または切り取り）」を選択する**

3 **ファイルのコピー（または移動）先のフォルダを右クリックし、表示されたメニューから「貼り付け」を選択する**

ファイルがコピー（または移動）されます。

パソコンからケーブルを取り外すときは、正しい操作を行ってください。正しい操作を行わずに取り外すと、データが破損する原因となります。（➔ 92 ページ）

本機をパソコンから取り外す

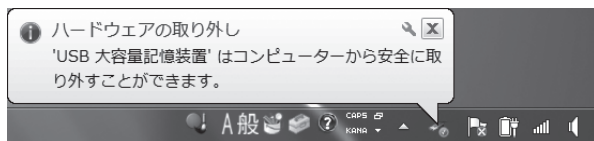
本機をパソコンから取り外す場合、パソコンから「安全なハードウェアの取り外し」を行い、PC リンク状態を解除します。ここでは Windows 7 での操作を例にしています。

1 パソコンの通知領域にある USB アイコン を右クリックし、メニューから「安全にハードウェアを取り外してメディアを取り出す」をクリックします。

メニューが表示されます。

- Windows7 使用時に、通知領域に が表示されている場合は、 をクリックして USB アイコン をクリックしてください。
- パソコンに表示されるアイコンはご使用の OS によって異なります。

2 「USB Flash Disk の取り出し」をクリックする

ハードウェアの取り外しが実行され、取り外しが完了するとメッセージが表示されます。

3 表示されたメッセージの「×」ボタンをクリックする

4 USB ケーブルを取り外す

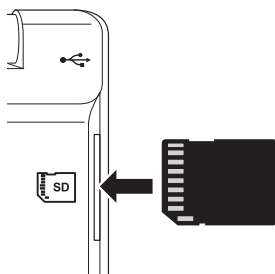
編集中のファイルの内容は保持され、本機の電源が切れます。

- 本機をパソコンから取り外すときは、正しい操作を行ってください。正しい操作を行わずに取り外すと、データが破壊されるおそれがあります。
- USB ケーブルを取り外すまで電源は切れません。
- 「安全なハードウェアの取り外し」が行えない場合は、パソコンの電源をオフしてから USB ケーブルを外してください。

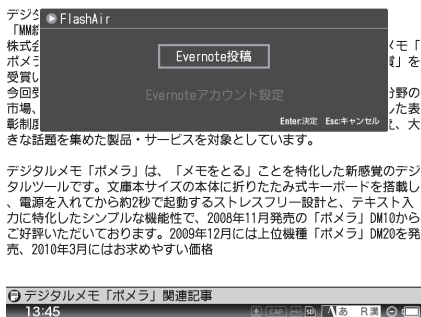
Evernote に投稿する

本機で編集したファイルを Evernote に投稿します。この機能を使用するには、FlashAir™（別売）が必要です。

1 FlashAir™（別売）を入れる

カードの向きに注意して、「カチッ」と音がするまで奥へ入れます。

- 本機には FlashAir™ は同梱しておりません。
- FlashAir™ の情報などは以下のサイトにてご確認ください。
  http://www.toshiba.co.jp/p-media/flashair/
- FlashAir™（別売）および無線 LAN ネットワーク環境が必要となります。
- 無線 LAN ネットワークの環境設定は当社のサポート対象外となります。お問い合わせにつきましてはお引受け致しかねますので、あらかじめご了承ください。
- FlashAir™ がロックされている場合、データの閲覧、コピー以外、データは操作できません。

2　メニュー画面で「ツール」－「FlashAir」を選択し、Enter キーを押す

「FlashAir」画面が表示されます。

・投稿したいファイルをあらかじめ FlashAir™（SD カード）に保存する必要があります。
・電池残量が ▮ の場合、Evernote 投稿機能は起動しません。
・アカウントの設定が完了していない場合、「Evernote アカウント設定」は選択できません。

3 「Evernote 投稿」を選択し、Enter キーを押す

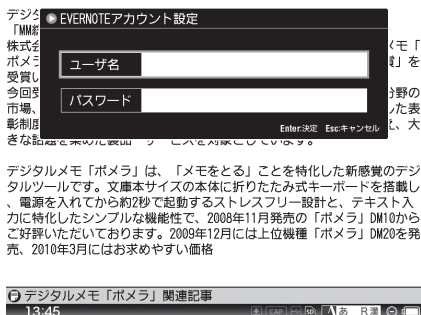
「FlashAir 接続先選択」画面が表示されます。

- 「🔒」が表示されているネットワークに接続する時は、パスワードの入力が必要です。
- 接続中のネットワークには、「★」が表示されます。
- 「F5」キーで接続先一覧が更新できます。
- 任意の接続先を設定する場合、「その他…」を選択し、Enter キーまたは▶キーを押してください。
- ネットワーク名は ASCII コードのみ対応しております。

ツールを活用する

4 無線 LAN ネットワークの接続先を選択し、Enter キーを押す

「EVERNOTE アカウント設定」画面が表示されます。

デジタルメモ「ポメラ」は、「メモをとる」ことを特化した新感覚のデジタルツールです。文庫本サイズの本体に折りたたみ式キーボードを搭載し、電源を入れてから約2秒で起動するストレスフリー設計と、テキスト入力に特化したシンプルな機能性で、2008年11月発売の「ポメラ」DM10からご好評いただいております。2009年12月には上位機種「ポメラ」DM20を発売、2010年3月にはお求めやすい価格

- Evernote 投稿を行うには、アカウントをあらかじめ作成しておく必要があります。詳細は以下のサイトにてご確認ください。
  http://evernote.com/
- アカウント設定を行うと次回からこの操作は不要となります。
- アカウントの変更を行う場合、「Evernote アカウント設定」－「編集」を選択し、Enter キーを押してください。
- アカウントの削除を行う場合、「Evernote アカウント設定」－「削除」を選択し、Enter キーを押してください。

5 投稿先となる Evernote アカウントのユーザ名とパスワードを入力し、Enter キーを押す

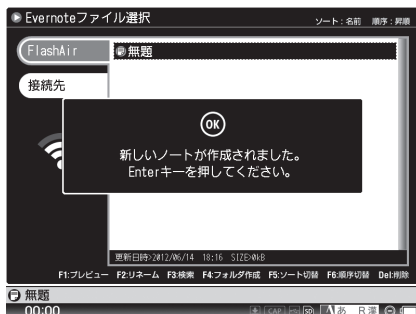
投稿ファイル選択画面が表示されます。

- FlashAir™ に保存されている「.txt」または「.csv」ファイルのみ投稿できます。
- 本機で開けるファイルのみ投稿できます。
- フォルダの投稿はできません。

6 投稿したいファイルを選択し、Enter キーを押す

投稿中画面が表示されます。

7 新しいノートが作成される

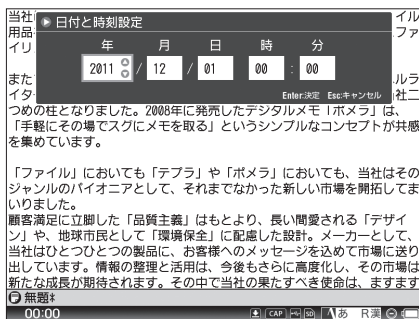
Evernote に「pomera」というノートブックが作成され、投稿したファイルが保存されます。終了する場合、「Menu」キーを押してください。

FlashAir 選択後、一定時間（2 分）キー入力をしない状態が続くと、通信が終了し直前の編集画面へ戻ります。
Evernote への投稿をやり直す場合は、メニュー画面で「ツール」－「FlashAir」から再度手順を行ってください。

6 本機の設定

日時を設定する

本機に内蔵されているカレンダーと時計を設定できます。

1 メニュー画面で「設定」－「日付と時刻設定」を選択し、Enter キーを押す

「日付と時刻設定」画面が表示されます。

2 ◀ / ▶キーで変更したい項目を選択し、▲ / ▼キーで数値を選択する

3 Enter キーを押す

入力した日付と時刻が設定され、メニュー画面に戻ります。

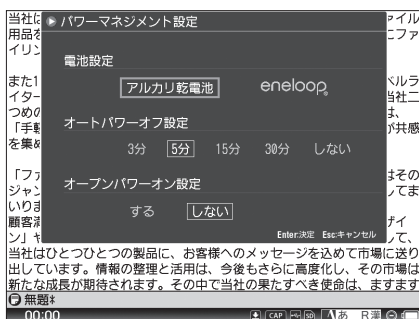
本機は、2011/1/1 から 2050/12/31 までのカレンダーを搭載しています。

電源の自動オン／オフを設定する

オープンパワーオンを設定する

本機を開いたときに、自動的に電源が入るように設定できます。

1 メニュー画面で「設定」－「パワーマネジメント」を選択し、Enter キーを押す

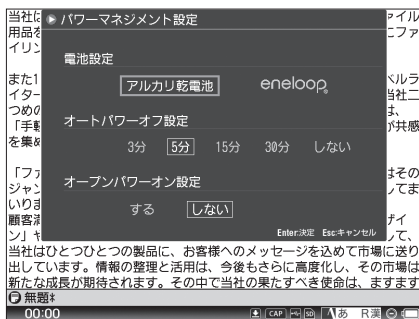
「パワーマネジメント」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで「する」を選択し、Enter キーを押す

オープンパワーオンが設定され、メニュー画面に戻ります。

オートパワーオフを設定する

電源を入れてから一定時間操作をしなかった時に、液晶の表示が消えるまでの時間を設定できます。初期設定は 5 分です。

1 メニュー画面で「設定」－「パワーマネジメント」を選択し、Enter キーを押す

「パワーマネジメント」画面が表示されます。

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで設定したい時間を選択し、Enter キーを押す

自動的に電源がオフする時間が設定され、メニュー画面に戻ります。

設定時間に「しない」を選択すると、オートパワーオフの設定を解除できます。

・ PC リンク状態（または USB ケーブルを接続した状態）ではオートパワーオフは作動しません。
・ Bluetooth 接続時にオートパワーオフが作動すると、接続が中断されます。

ファイルの保存方法を設定する

新規テキストを保存する場合にあらかじめ入力されている、デフォルトのファイル名と保存先を設定します。

1 **メニュー画面で「設定」－「ファイル設定」を選択し、Enter キーを押す**

「ファイル設定」画面が表示されます。

2 **▲ / ▼キー（または Tab キー）でカーソルを移動し、◀ / ▶キーで保存方法を設定する**

ファイル保存先：

ファイル / フォルダ管理画面（「名前をつけて保存」画面など）を開いたときに、最初に表示される保存先を設定します。

デフォルトファイル名：

編集したテキストファイルを保存する場合のデフォルト名を設定します。

デフォルトファイルの種類：

自動的に作成される新規ファイルの種類（テキストもしくは表）を設定します。

3 **Enter キーを押す**

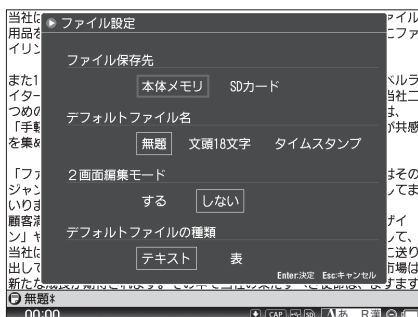
ファイルの保存方法が設定され、メニュー画面に戻ります。

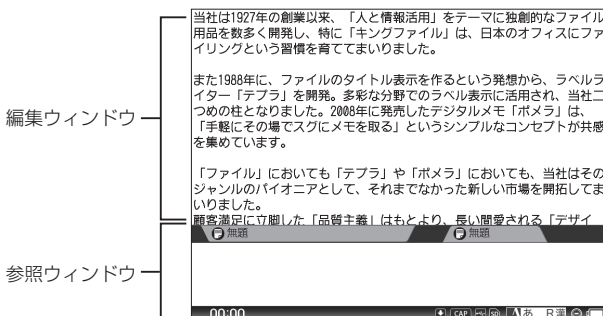
「ファイル保存先」が SD カードに設定されていて、SD カードがセットされていない場合、ファイル / フォルダ管理画面を開くと本体メモリが表示されます。

2 画面表示を設定する

２つのファイルを同時に開いて、テキストや表が編集できます。相互参照や引用などが簡単に行なえます。

1　メニュー画面で「設定」-「ファイル設定」を選択し、Enter キーを押す

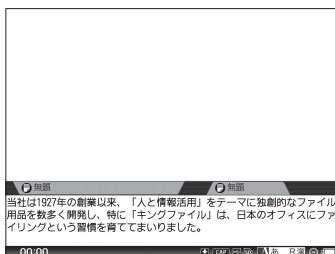
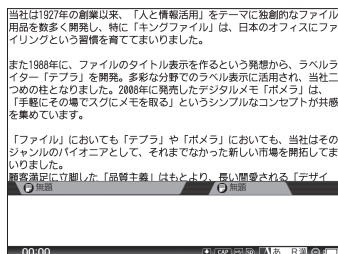
「ファイル設定」画面が表示されます。

2　▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで「する」を選択し、Enter キーを押す

「２画面編集モード」が設定され、メニュー画面に戻ります。

「2 画面編集モード」から通常の編集モードに戻ると、「参照ウィンドウ」で開いていたファイルは閉じられます。

編集するファイルを切り替える

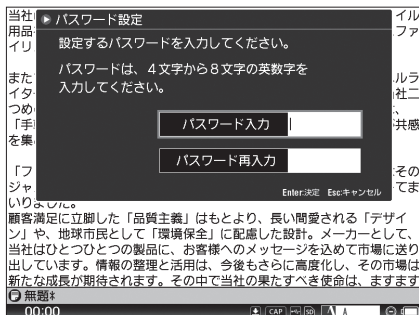
２つのファイルを開いているときに、編集するファイルを切り替えます。

1 Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

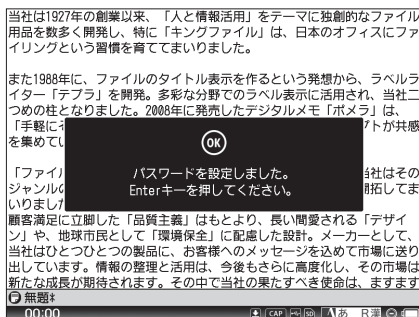
編集ウィンドウと参照ウィンドウのテキストが入れ替わります。

- ２画面編集モード設定時には、メニュー画面に、「編集」－「切り替え」が追加され、これを選択しても、編集ウィンドウと参照ウィンドウのテキストが入れ替えられます。
- ２画面編集モードでファイルを開くと、編集ウィンドウにファイルが開かれます。

パスワードを設定する

本機を起動するときのパスワードを設定できます。初期状態ではパスワードは設定されていません。

1 メニュー画面で「設定」－「パスワード設定」を選択し、Enter キーを押す

「パスワード設定」画面が表示されます。

2 「パスワード入力」「パスワード再入力」に設定したい文字列を入力し、Enter キーを押す

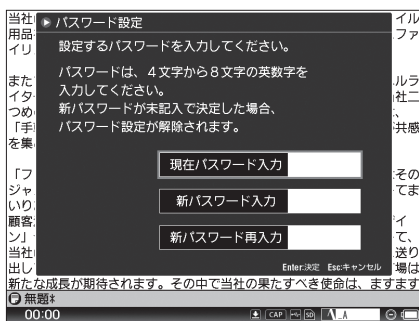
パスワードが設定され、パスワード入力終了画面が表示されます。

「パスワード入力」と「パスワード再入力」が一致していないとエラー画面が表示されます。再入力してください。

3 Enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

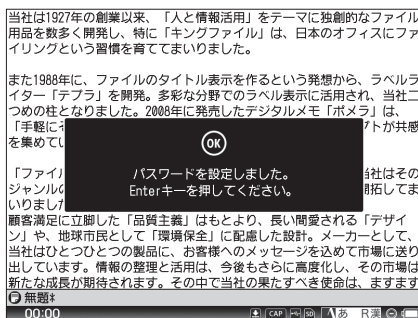
パスワードを変更する

既に設定されているパスワードを変更できます。

1 メニュー画面で「設定」－「パスワード設定」を選択し、Enter キーを押す

「パスワード設定」画面が表示されます。

2 「現在パスワード入力」に現在設定されているパスワードを入力する

3 「新パスワード入力」「新パスワード再入力」に設定したい文字列を入力し、Enter キーを押す

パスワードが設定され、パスワード入力終了画面が表示されます。

パスワードは 4 文字から 8 文字の半角英数字を入力してください。

4 Enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

新パスワード入力欄を空白にして Enter キーを押すと、パスワード設定解除画面が表示され、パスワード設定が解除されます。

「新パスワード入力」と「新パスワード再入力」が一致していないとエラー画面が表示されます。再入力してください。

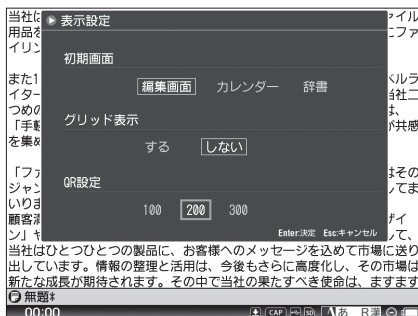
重要

設定したパスワードは、紙に書くなどして忘れないようにしてください。リセットスイッチを押してもセキュリティーのためパスワードは解除されません。
再び本機をお使いいただくには本体データすべてを消去することとなります。パスワードを忘れてしまったら、お客様相談室までお問い合わせください。

画面表示を設定する

液晶画面の表示方法を設定します。

1 **メニュー画面で「設定」－「表示設定」を選択し、Enter キーを押す**

「表示設定」画面が表示されます。

2 **▲ / ▼キー（または Tab キー）でカーソルを移動し、◀ / ▶キーで表示方法を設定する**

初期画面：

本機の電源を入れたときに、最初に表示される画面を「編集画面」「カレンダー」「辞書」から選択します。

グリッド表示：

行を区切るラインを表示するかしないかを選択します。

QR 設定：

QR コード 1 つあたりで表示する文字数（300 字、200 字、100 字）を選択します。

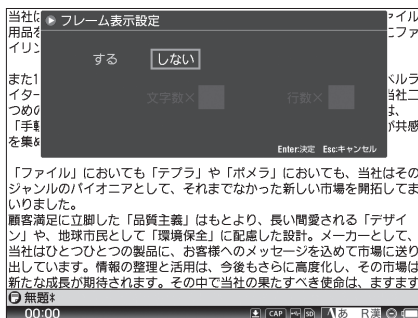
3 **Enter キーを押す**

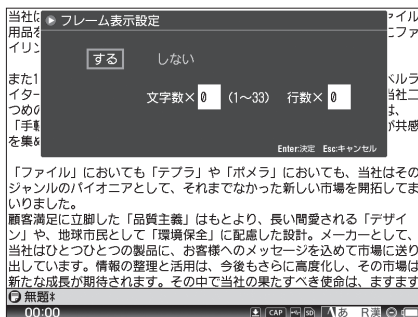
表示方法が設定され、メニュー画面に戻ります。

編集するテキストの行数と字数を指定する

あらかじめ編集画面の行数や文字数を設定できます。限られた文字数で文章を作成するときに役立つ機能です。

1 メニュー画面で「書式」－「フレーム表示設定」を選択し、Enter キーを押す

「フレーム表示設定」画面が表示されます。

2 ◀ / ▶キーで「する」を選択し、▼キーを押す

「文字数」項目が選択されます。

3 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで「文字数」と「行数」を選び、数字キーで数値を入力する

設定できる文字数は、文字サイズによって異なります。

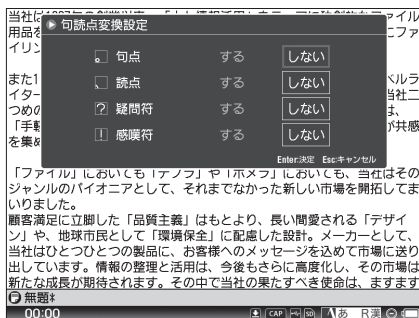
4 Enter キーを押す

テキスト編集画面の表示が、設定した文字数と行数に変わります。

句読点入力の自動変換を設定する

句読点などを入力すると、それまで未変換だったテキストが自動的に変換を開始するように設定します。

1 **メニュー画面で「書式」－「句読点変換設定」を選択し、Enter キーを押す**

「句読点変換設定」画面が表示されます。

2 **▲ / ▼ / ◄ / ►キーで、各項目についての設定を選択する**

句点（。）、読点（、）、疑問符（？）、感嘆符（！）を入力したときに、自動変換を行うかどうか設定できます。

3 **Enter キーを押す**

自動変換が設定され、メニュー画面に戻ります。

親指シフト設定時、またはカナ入力時、句読点変換設定は無効となります。

キーボードの機能を設定する

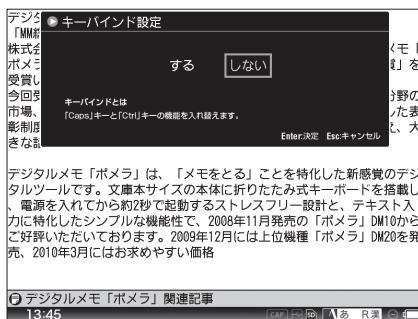
一部のキーの配置を変更、または修飾キーをロック状態にします。

Caps キーと Ctrl キーの機能を入れ替える

Caps キーと Ctrl キーの機能を入れ替えます。

1 メニュー画面で「設定」－「キー設定」を選択し、Enter キーを押す

2 ▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで「キーバインド設定」を選択し、Enter キーを押す

「キーバインド設定」画面が表示されます。

3 ◀ / ▶キーで「する」を選択し、Enter キーを押す

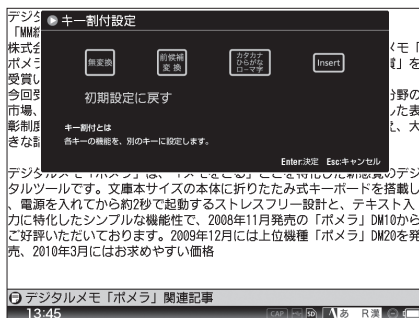
Caps キーと Ctrl キーの機能が入れ替わり、メニュー画面に戻ります。

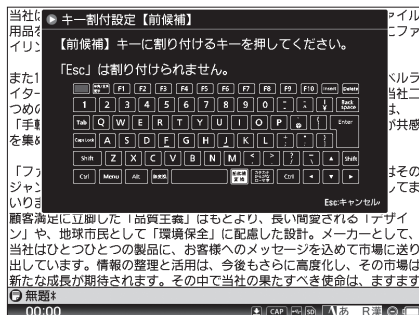
キーボードの機能を入れ替える

一部キーに設定されている機能を入れ替えて、入力スタイルに合わせてカスタマイズします。

1　メニュー画面で「設定」－「キー設定」を選択し、Enter キーを押す

2　▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで「キー割付設定」を選択し、Enter キーを押す

「キー割付設定」画面が表示されます。

3　▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで機能を割り当てたいキーを選択し、Enter を押す

キーボード割り付けマップが表示されます。

4 機能を設定したいキーを押す

選択した機能がキーに設定され、「キー割付設定」画面に戻ります。

電源キーと Esc キーには設定できません。

5 Esc キーを押す

メニュー画面が表示されます。

キーボードの機能の設定を初期状態に戻したい場合は、「初期設定に戻す」を選択し、Enter キーを押してください。確認画面が表示され、キーボードの機能を初期化できます。

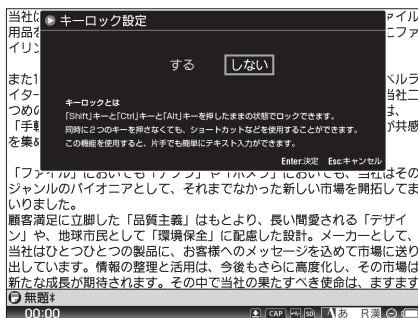
親指シフト設定時、「無変換」「前候補変換」キーに、キー割付を行うことはできません。

修飾キーをロックする

Shift キーと Ctrl キーと Alt キーを押したままの状態でロックできます。同時に2 つのキーを押さなくても、ショートカットキーなどを使用することができます。この機能を使用すると、片手でも簡単にテキスト入力ができます。

1 **メニュー画面で「設定」−「キー設定」を選択し、Enter キーを押す**

2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで「キーロック設定」を選択し、Enter キーを押す**

「キーロック設定」画面が表示されます。

3 **◀ / ▶キーで「する」を選択し、Enter キーを押す**

キーロックが設定され、メニュー画面に戻ります。

4 **Menu キーを押す**

テキスト編集画面に戻ります。

5 **Shift キー、Ctrl キー、Alt キーのうち、いずれかのキーを押す**

押したキーがロック状態になり、キーロックアイコン が表示されます。

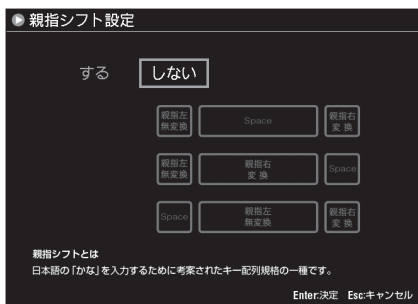
- ロック状態のキーは、一度入力操作を行うと解除されます。
- ショートカットキーなどの入力を行わない場合でも、一度キー操作を行うと解除されます。
- 一度にロックできるキーは 1 つだけです。
- 修飾キーを二つ以上組み合わせたショートカットキーなどの入力はできません。
- 再度キーをロックしたい場合は、手順 4 を繰り返してください。

親指シフト入力を設定する

キーボードの配列を親指シフトスタイルに変更できます。親指シフトスタイルは大量の日本語入力を処理する為のキーボード配列です。

1 **メニュー画面で「設定」－「キー設定」を選択し、Enter キーを押す**

2 **▲ / ▼ / ◀ / ▶キーで「親指シフト設定」を選択し、Enter キーを押す**

「親指シフト設定」画面が表示されます。

3 **◀ / ▶キーで「する」を選択し、Enter キーを押す**

カーソルがスペースキーと変換キーの位置選択に移動します。

4 **▲ / ▼キーでスペースキーと変換キーの位置を選択し、Enter キーを押す**

キーボード配列が親指シフトスタイルに変更され、メニュー画面に戻ります。

- 親指シフト設定を利用する場合、キーボードの配列が変わります。付属のキートップシールをキーボードに貼ってご使用ください。
- 本機を Bluetooth キーボードとして使用している間、親指シフト設定は無効になります。
- 親指シフト設定時、入力スタイルは MS-IME となります。また、句読点変換設定は無効になります。

この設定は、JIS 配列キーボードを簡易的に親指シフトスタイルに対応させたものになります。一部、キー配列の違いや入力できない文字などがありますので、ご了承ください。

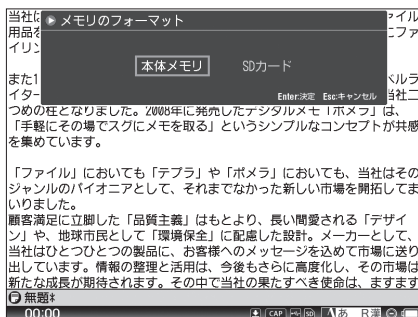
メモリをフォーマットする

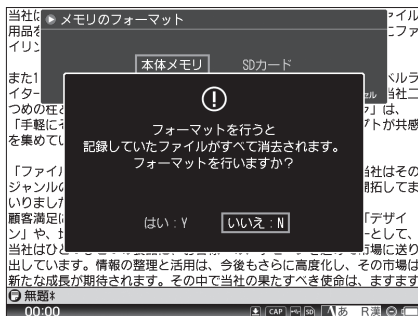
本体メモリをフォーマットする

本機の内部メモリにある全てのファイルやフォルダを消去して、フォーマットします。

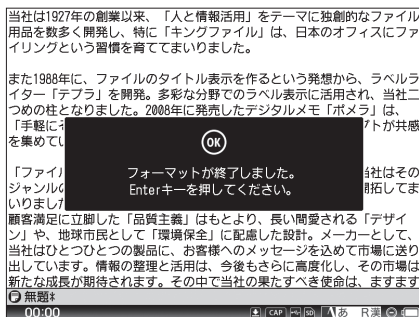
- フォーマットで消去したファイルやフォルダは元に戻せません。
- ユーザー設定は初期化されません。

1　メニュー画面で「設定」－「メモリのフォーマット」を選択し、Enter キーを押す

「メモリのフォーマット」画面が表示されます。

2　▲ / ▼キーで「本体メモリ」を選択し、Enter キーを押す

フォーマット確認画面が表示されます。

「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。

3 ◀ / ▶キーで「はい：Y」を選択し、Enter キーを押す

内部メモリがフォーマットされ、フォーマット終了のメッセージが表示されます。

4 Enter キーを押す

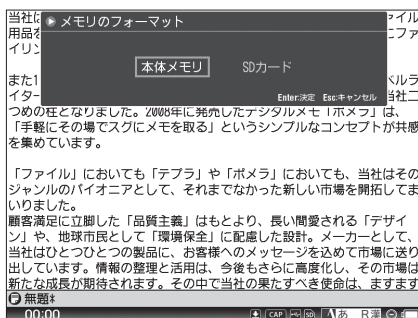
メニュー画面に戻ります。

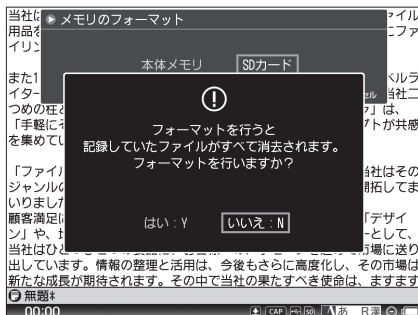
SD カードをフォーマットする

本機に挿入した SD カードのファイルを全て消去し、フォーマットできます。

フォーマットで消去したファイルやフォルダは元に戻せません。

1　メニュー画面で「設定」－「メモリのフォーマット」を選択し、Enter キーを押す

「メモリのフォーマット」画面が表示されます。

2　▲ / ▼キーで「SD カード」を選択し、Enter キーを押す

「フォーマット」確認画面が表示されます。

「はい：Y」「いいえ：N」はそれぞれ Y キー、N キーでも決定できます。

3 ◀ / ▶キーで「はい：Y」を選択し、Enter キーを押す

SDカードがフォーマットされ、フォーマット終了メッセージが表示されます。

当社は1927年の創業以来、「人と情報活用」をテーマに独創的なファイル
用品を数多く開発し、特に「キングファイル」は、日本のオフィスにファ
イリングという習慣を育ててまいりました。

また1988年に、ファイルのタイトル表示を作るという発想から、ラベルラ
イター「テプラ」を開発。多彩な分野でのラベル表示に活用され、当社二
つめの柱となりました。2008年に発売したデジタルメモ「ポメラ」は、

フォーマットが終了しました。
Enterキーを押してください。

顧客満足に立脚した「品質主義」はもとより、長い間愛される「デザイ
ン」や、地球市民として「環境保全」に配慮した設計。メーカーとして、
当社はひとつひとつの製品に、お客様へのメッセージを込めて市場に送り
出しています。情報の整理と活用は、今後もさらに高度化し、その市場は
新たな成長が期待されます。その中で当社の果たすべき使命は、ますます
無題*
00:00

4 Enter キーを押す

メニュー画面に戻ります。

・ SD カードの容量により、フォーマットにかかる時間は異なります。
・ SD カードがロックされている場合、データの閲覧、コピー以外、カードのデータは操作できません。

7 付録

ソフトウェアのアップデートについて

最新版ソフトウェアの情報や、アップデートの詳しい手順については、弊社 HP（http://www.kingjim.co.jp/）をご参照ください。

ソフトウェアをアップデートするには、USB ケーブルと SD カードを本機にセットする必要があります。詳しくは『SD カードをセットする（別売り）』（➔ 21 ページ）を参照してください。

ショートカットキー一覧

本機では、ポメラ専用のショートカットキーに加え、選択した日本語入力システムのショートカットキーを使用できます。

メニュー画面で「ツール」－「入力ヘルプ」を選択し、Enter キーを押すと、ショートカットキーの一覧が表示されます。

ポメラショートカットキー全般

●編集操作	
付箋文の挿入	F1 ＊1
タイムスタンプ	F2
次を検索	F3
繰り返し動作	F4
付箋文ジャンプ	F5 ＊1
表示文字サイズ変更（昇）	F6 ＊2
文字情報表示	F7

●編集操作	
横書き / 縦書きの切り替え	F8
Page Up	Alt + ▲
Page Down	Alt + ▼
先頭候補へ移動	Alt + ◄
最終候補へ移動	Alt + ►
F 1メニュー（付箋文の挿入）	Alt + F ＊1
F 2メニュー（タイムスタンプ）	Alt + E
F 3メニュー（次を検索）	Alt + O
F 4メニュー（繰り返し動作）	Alt + V
F 5メニュー（付箋文ジャンプ）	Alt + H ＊1
F 6メニュー（文字サイズ変更）	Alt + K ＊2
F 7メニュー（文字情報表示）	Alt + I
元に戻す	Alt + Backspace or Ctrl + Z
半角 / 全角の切り替え	Alt + 半角 / 全角
かな入力 / ローマ字入力変更	Alt + カタカナひらがな
画面の切り替え（二画面編集モード）	Alt+Tab
切り取り	Ctrl + X
コピー	Ctrl + C
貼り付け	Ctrl + V
全て選択	Ctrl + A
リセット	Ctrl + Alt + Delete
文頭に移動	Ctrl + Alt + ◄
文末に移動	Ctrl + Alt + ►
カーソル位置から文頭までを選択	Ctrl + Alt + Shift + ◄
カーソル位置から文末までを選択	Ctrl + Alt + Shift + ►
単語単位でカーソル移動	Ctrl + ◄ or ►
文字の選択	Shift + カーソルキー
英字を大文字に固定	Shift + Caps Lock
上方向に検索	Shift + F3
上方向に付箋文ジャンプ	Shift + F5
文字サイズ変更（降）	Shift + F6

●メニュー操作	
カレンダー表示	Alt + F1 *3
定型文	Alt + F3 *1
QR コード表示	Alt + F5 *2
バックライトの調節	Alt + F7
国語辞典	Alt + F8
英和辞典	Alt + F9
和英辞典	Alt + F10
Bluetooth	Alt + B
入力ヘルプ表示	Alt + Menu
新規作成	Ctrl + N *2
開く	Ctrl + O *2
上書き保存	Ctrl + S *1
検索	Ctrl + F
置換	Ctrl + H
行指定ジャンプ	Ctrl + G
ファイルの削除	Ctrl + D *2

＊ 1　定型文の編集中は使用できません。
＊ 2　定型文の編集中、日付メモの編集中は使用できません。
＊ 3　定型文の編集中、日付メモの編集中に入力した場合、内容を保存して編集を終了します。

MS-IME ショートカットキー

●変換操作	
変換 / 次候補	スペース / 変換 / ▼ / Ctrl ＋ X
変換 / 前候補	Shift ＋スペース / Shift ＋変換 / ▲ / Ctrl ＋ E
ひらがな（後）変換	F6 / Ctrl ＋ U
カタカナ（後）変換	F7 / Ctrl ＋ I
半角（後）変換	F8 / Ctrl ＋ O
全角無変換（後）変換	F9 / Ctrl ＋ P
半角無変換（後）変換	F10 / Ctrl ＋ T
順次無変換後変換	Shift ＋無変換
順次カタカナ後変換	無変換

●文字編集、確定、取消操作	
全文確定	Enter / Ctrl ＋ M / Ctrl ＋ Enter
部分確定	Ctrl ＋ ▼ / Ctrl ＋ N
変換取消	Backspace / Ctrl ＋ H / Esc / Ctrl ＋ Z
全文字削除	Esc / Shift ＋ Esc / Ctrl ＋ Z
前文字削除	Backspace / Ctrl ＋ H / Shift ＋ Backspace
1文字削除	Delete / Ctrl ＋ G
カーソルを前へ移動	◄ / Shift ＋ ◄ / Ctrl ＋ S / Ctrl ＋ K
カーソルを後ろへ移動	► / Shift ＋ ► / Ctrl ＋ D / Ctrl ＋ L
カーソルを先頭へ移動	Ctrl ＋ Alt ＋ ◄
カーソルを末尾へ移動	Ctrl ＋ Alt ＋ ►

●候補操作	
次の候補群を表示	Shift +▼
前の候補群を表示	Shift +▲

●文節操作	
文節の区切りを前へ移動	Shift +◀ / Ctrl + K
文節の区切りを後へ移動	Shift +▶ / Ctrl + L
注目文節を前へ移動	◀ / Ctrl + S
注目文節を後へ移動	▶ / Ctrl + D
注目文節を先頭へ移動	Ctrl +◀ / Ctrl + A
注目文節を末尾へ移動	Ctrl +▶ / Ctrl + F

●機能操作	
日本語入力オン／オフ	半角／全角
単語登録	Ctrl + F7
単語削除	Ctrl + Delete
入力モード順次切替	F10
入力文字種（Ａ / A）順次切替	Shift +無変換
入力文字種（あ / ア / ｱ）順次切替	無変換
漢字 / 半角モード切替	なし
固定入力英字順次切替	なし
固定入力カナ順次切替	なし
漢字入力モード順次切替	Alt +カタカナひらがな
入力文字種全角ひらがな	カタカナひらがな
入力文字種全角カタカナ	Shift +カタカナひらがな
半角無変換固定入力オン / オフ	なし
カナ入力切替	なし
英字入力オン / オフ	Caps

ATOK ショートカットキー

●変換操作	
変換 / 次候補	スペース / 変換 / Shift ＋スペース / Shift ＋変換
変換 / 前候補	▲
ひらがな（後）変換	F6 / Ctrl ＋ U
カタカナ（後）変換	F7 / Ctrl ＋ I
半角（後）変換	F8 / Ctrl ＋ O
全角無変換（後）変換	F9 / Ctrl ＋ P
半角無変換（後）変換	F10 / Ctrl ＋@
順次無変換後変換	なし
順次カタカナ後変換	なし

●文字編集、確定、取消操作	
全文確定	Enter / Ctrl ＋ M
部分確定	▼ / Ctrl ＋ N
変換取消	Backspace / Ctrl ＋ H
全文字削除	Esc / Ctrl ＋ [
前文字削除	Backspace / Ctrl ＋ H
１文字削除	Delete / Ctrl ＋ G
カーソルを前へ移動	◄
カーソルを後ろへ移動	► / Ctrl ＋ L
カーソルを先頭へ移動	Ctrl ＋ Alt ＋ ◄
カーソルを末尾へ移動	Ctrl ＋ Alt ＋ ►

●候補操作	
次の候補群を表示	変換
前の候補群を表示	Shift ＋変換
先頭候補へ移動	なし
最終候補へ移動	なし

●文節操作	
文節の区切りを前へ移動	◄ / Ctrl ＋ K
文節の区切りを後へ移動	► / Ctrl ＋ L
注目文節を前へ移動	Shift ＋ ◄
注目文節を後へ移動	Shift ＋ ►
注目文節を先頭へ移動	Ctrl ＋ ◄
注目文節を末尾へ移動	Ctrl ＋ ►

●機能操作	
日本語入力オン／オフ	半角／全角
単語登録	Ctrl ＋ F7
単語削除	Ctrl ＋ Delete
入力モード順次切替	F10
入力文字種（Ａ / A） 順次切替	なし
入力文字種（あ / ア / ｱ） 順次切替	なし
漢字 / 半角モード切替	変換
固定入力英字順次切替	Shift ＋無変換
固定入力カナ順次切替	Ctrl ＋無変換
漢字入力モード順次切替	Alt ＋カタカナひらがな
入力文字種全角ひらがな	なし
入力文字種全角カタカナ	なし
半角無変換固定入力 オン / オフ	無変換
カナ入力切替	カタカナひらがな

Bluetooth 対応キー

本機を iPhone/iPad などの Bluetooth キーボードとしてご使用になる場合、対応するキーは以下の通りです。

キー入力	iPhone/iPad で入力される文字
Shift ＋ 2	@
Shift ＋ 6	^
Shift ＋ 7	&
Shift ＋ 8	*
Shift ＋ 9	(
Shift ＋ 0	)
Shift ＋ -	_
^	`
￥	\（バックスラッシュ）
@	＝
Shift ＋ @	＋
Shift ＋ ;	:
Shift ＋ :	”
\（バックスラッシュ）	無効
Insert	無効
Menu	Bluetooth 接続の終了
Alt	option
無変換	command
前候補変換	無効
カタカナひらがなローマ字	無効
無変換 ＋ スペース	入力切替
Bluetooth（サイドキー）	Bluetooth 接続の終了
QR コード（サイドキー）	無効
カレンダー（サイドキー）	無効
国語（サイドキー）	無効
英和（サイドキー）	無効
和英（サイドキー）	無効

ローマ字入力表

あ	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
さ	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI SHI	SU	SE	SO
た	た	ち	つ	て	と
	TA	CHI TI	TU	TE	TO
な	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	FU HU	HE	HO
ま	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や	や	い	ゆ	いぇ	よ
	YA	YI	YU	YE	YO
ら	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
わ	わ	うぃ	う	うぇ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
ぁ	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
	LA,XA	LI,XI	LU,XU	LE,XE	LO,XO
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
きゃ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ	くぁ				
	KWA				
ぐぁ	ぐぁ				
	GWA				

ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	JI,ZI	ZU	ZE	ZO
しゃ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	SHA SYA	SYI	SHU SYU	SHE SYE	SHO SYO
じゃ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	JA JYA ZYA	JYI ZYI	JU JYU ZYU	JE JYE ZYE	JO JYO ZYO
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
ちゃ	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
ぢゃ	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
っ			っ		
			LTU XTU		
つぁ	つぁ	つぃ	つ	つぇ	つぉ
	TSA	TSI	TSU	TSE	TSO
てゃ	てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
	THA	THI	THU	THE	THO
でゃ	でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とぅ			とぅ		
			TWU		
どぅ			どぅ		
			DWU		
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO

ひゃ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ふぁ	ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	FA	FI,FYI		FYE FE	FO
ふゃ	ふゃ		ふゅ		ふょ
	FYA		FYU		FYO
みゃ	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
ゃ	ゃ	ぃ	ゅ	ぇ	ょ
	LYA XYA	LYI XYI	LYU XYU	LYE XYE	LYO XYO
りゃ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
う゛ぁ	う゛ぁ	う゛ぃ	う゛	う゛ぇ	う゛ぉ
	VA	VI	VU	VE	VO
ん	ん				
	NN				

単語登録に使えない文字

「読み」登録に使えない文字

半　角	全　角	備　考
空白	空白	
!	！	
"	”	ダブルクォート
'	’	クォート
(	（	
)	）	
,	，	カンマ
.	．	ピリオド
?	？	
[	［	
¥	￥	
]	］	
^	＾	ハット
`	｀	バッククォート
{	｛	
¦	｜	パイプ
}	｝	
~	～	チルダ
｡	。	句点
｢	「	
｣	」	
､	、	読点

その他、漢字や『 』① ± ☆ のような、半角コード（数字、記号、アルファベット、カタカナ）に変換できない記号など。

「読み」登録の先頭に使えない文字

半角カタカナ	全角カタカナ	ひらがな	備考
ｦ	ヲ	を	
ｧ	ァ	ぁ	拗音
ｨ	ィ	ぃ	
ｩ	ゥ	ぅ	
ｪ	ェ	ぇ	
ｫ	ォ	ぉ	
ｬ	ャ	ゃ	
ｭ	ュ	ゅ	
ｮ	ョ	ょ	
ｯ	ッ	っ	促音
ｰ	ー	ー	長音
ﾝ	ン	ん	
	ヰ	ゐ	旧仮名づかい
	ヱ	ゑ	
	ヵ		
	ヶ		
	ヮ	ゎ	
ﾞ	゛	゛	濁音
ﾟ	゜	゜	半濁音

故障かなと思ったら

■ 電源ボタンを押しても液晶パネルに何も表示されない

電池の向きは正しくセットされていますか？

電池の向きが逆にセットされていると電源は入りません。電池ケースの中に刻印されている向きに、正しくセットされているか確認してください。

➔ 15 ページ「電池をセットする（別売り）」

リセットスイッチは押しましたか？

コイン電池と、単 3 形電池を同時に交換する場合は、リセットが必要です。電池交換後、電源ボタンを押しても何も表示されない場合は、リセットスイッチを押してください。

ただしリセットスイッチを押すと未保存の文書は消去されます。

（保存済みの文書は消去されません。）

単 3 形電池が消耗していませんか？

消耗した単 3 形電池を使用していると、電源が入らないことがあります。新しい単 3 形電池と交換するか、十分に充電したエネループをセットしてください。

➔ 15 ページ「電池をセットする（別売り）」

■ 液晶パネルのディスプレイが消える

オートパワーオフ機能ではありませんか？

オートパワーオフ機能を設定している場合、一定時間以上操作をしないと、電源が自動的に切れ、ディスプレイが消灯します。初期設定では 5 分間操作をしないと電源が切れるように設定されています。

➔ 102 ページ「オートパワーオフの設定をする」

■ パソコンにポメラが認識されない

「PC リンク」は設定されていますか？

電源が入っている状態で本機とパソコンを接続したときは、「PC リンク」を設定しないと､パソコンは本機を認識しません。メニュー画面で「ツール」－「PC リンク」を設定してください。

➔ 89 ページ「パソコンと接続（リンク）する」

USB ケーブルはしっかり接続されていますか？

USB ケーブルの両端を本機とパソコンの USB 端子にしっかりと接続してください。

パスワードが設定されていませんか？

パスワードが設定されていて、電源がオフの状態では SD カードしかパソコンに認識されません。電源をオンにして「PC リンク」設定からパスワード入力を行うか、パスワード設定を解除してください。

ご使用のパソコンは Bluetooth に対応していますか？

本機の「Bluetooth」機能を設定しても、パソコンが Bluetooth に対応していない場合､パソコンは本機を認識しません。ご使用のパソコンのメーカーに仕様をご確認ください。

■ SD カードがポメラで認識されない

デジタルメモ「ポメラ」DM100 の最新の動作確認済み SD カードの情報は弊社 HP にてご確認ください。

http://www.kingjim.co.jp/

索引

記号

英数字

あ

か

さ

付録

た

な

は

ま

ら

仕様

本体

キーボード	：JIS 配列キーボード、キーピッチ約 17mm
本体メモリ	：128MB(システム領域含む) （1 ファイルあたりの最大文字数は全角 40,000 文字／最大 1,572 ファイル登録）
ファイル形式	：テキスト（.txt)、表（.csv）
LCD パネル	：5.7 インチ TFT モノクロ LCD、SVGA（800 × 600 ドット)、バックライト搭載
インターフェイス	：USB 接続（ミニ B タイプ）
メモリーカードスロット	：SD カード（最大容量 2GB） SDHC カード（最大容量 32GB）

電源

電源	：単 3 形アルカリ乾電池× 2 本（別売)、 または単 3 形エネループ× 2 本（別売）
電池寿命	：アルカリ乾電池　約 30 時間、エネループ　約 25 時間
バックアップ電源	：リチウムコイン電池（CR2016 × 1） ※ 2 時間キー入力／ 2 時間待機状態での換算時。電池寿命は使用環境や設定などで変化します。

サイズ・質量

寸法（mm）	：W263 × D118.5 × H24.6mm（突起部含まず）
質量	：約 399g（電池含まず）

Bluetooth®

接続方式	：Bluetooth® 無線方式
電波周波数	：2.4GHz 帯
電波方式	：FH-SS 方式
適合規格	：Bluetooth® ver.2.1 + EDR class 2
電波到着距離	：最大 10m（使用環境により異なります）
プロファイル	：HID（Human Interface Device）、FTP（File Transfer Profile）
対応機種／キーボード	：iPad 第 3 世代、iPad2、iPad、iPhone5/iPhone4S/4/3GS、iPod touch（第 4、3 世代） ※iOS4.0 以上 ※対応機種については、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
対応機種／データ転送	：FTP プロファイル搭載機種に対応していますが、本機と通信できない機種があります。FTP プロファイル詳細については、各端末・機器メーカーにお問い合わせください。

辞書

国語／英和／和英	：明鏡国語辞典 MX ／ジーニアス英和辞典 MX ／ジーニアス和英辞典 MX ※「MX」シリーズは、大修館書店が書籍版の辞書を元に、モバイル端末用に再編集したものです。

PC リンク時　動作環境

対応 OS	：日本語 Windows8/7/Vista/XP(32/64bit 対応) ※Windows　Vista　Enterprise は動作対象外 Mac OS X Ver.10.8/10.7/10.6/10.5

付録

アフターサービス

■保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と裏面の保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

■修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。本機および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。商品をお買い上げ販売店までお持ちください。
なお、修理・検査を行うと、保存されているファイル・辞書登録や学習内容などが消去されます。また、修理のとき一部代替部品を使わせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、キングジム商品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル（全国共通）　ナットクのパートナー
お客様相談室 0120-79-8107

FAX からの場合 0120-79-8102
携帯電話からの場合 0570-06-4759 ※通話料お客様負担
受付時間：平日（月～金曜日）午前 9:00～午後 5:30

付録